事務事業コード
 017400
 重点施策
 該当なし
 令和元年度 第10次鳥取市総合計画

 事務事業名
 観光活動事業
 所属名
 経済観光部 観光・ジオパーク推進課

1. 基本情報

11 0001	110 101						
_位 総	体系区分	コード		名 称		事業区分名称	区分
置合	まちづくりの目標	20	新しいにぎわいのある。	まち	事業期間	令和元年度 ~ 全期	
位置づけ総合計画の	政策	02	地域資源を生かしたま	ちづくり			
''	施策	2201	滞在型観光の推進		根拠法令、 根拠計画等		
	目標の種別			平成28年度	令和2年度	IKIZII EI T	
目 無策	観光入込客数(年間	間)		301万人	326万人	事業分類区分	ソフト(任意)
標の	国際観光客サポー	国際観光客サポートセンター案内件数(年間)			10,000人	運営方法	直営
				0	0	会計区分	一般会計
予算	予算事業名 観分	光活動事業:	費		予算事業コード	01-06-01-03-01-01	

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

	観光客、コンベンション開催団体等
対象 (何を、誰を)	
	本市の観光資源を積極的にPRし、観光客の増加を図る。
意図 (どのような状態 にするために)	
手段	関係団体と連携し、首都圏や関西圏等でコンベンション誘致活動の実施。 姫路市、岡山市と連携し、3都市への誘客に向けた観光PR活動の実施。
(どうするのか)	

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

			平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
内容	年度	E別計画	①コンペンション誘致 活動 ②姫路市・岡山市との 連携	①コンペンション誘致 活動 ②姫路市・岡山市との 連携	①コンペンション誘致 活動 ②姫路市・岡山市との 連携	①コンベンション誘致 活動 ②姫路市・岡山市との 連携	①コンペンション誘致 活動 ②鬼路市・岡山市との 連携
T	年度別実績		①島取県コンベンショ ン誘致説明会への参画 ②姫路岡山鳥取周遊観 光パンプレットの更新	①島取県コンベンショ ン誘致説明会への参画 ②三市の歴史情報を雑 誌に掲載 鳥取県立博物館でのバ ネル展示	①島取県コンベンショ ン誘致説明会への参画 ②事業全体が延期	①島取県コンベンショ ン誘致説明会への参画 ②事業全体が延期	
	I	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)
		費(A+B)	2,959	2,942	2,273	2,375	0
<u> </u>	直接	経費 A	1,515	1,478	824	937	0
事業		国・県	0	0	0	0	0
費	直接経 費の財	地方債	0	0	0	0	0
	源内訳	その他	0	0	0	0	0
		一般財源	1,515	1,478	824	937	0
	人作	牛費 B	1,444	1,464	1,449	1,438	0
씖	員数の	正規職員	0.20	0.20	0.20	0.20	0.00
	貝奴の 内訳	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
		コンベンション誘致活動の実施	口	目標	1	1	1	1	1
	1				1	1	1	1	0
		(指標の説明)		•		•	•		•
活動		姫路市・岡山市と連携したPR活動の実施	П	目標	3	3	3	3	3
動指	2		Ш	実績	3	3	0	0	0
標		(指標の説明)							
				目標	0	0	0	0	0
	3			実績	0	0	0	0	0
		(指標の説明)			•	•	•	•	

5. 令和元年度の事務事業実施概要		※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と運動)
	【問合せ先】観光政策係	0857-30-8291
	【10次総の施策体系】	2201
	【予算計上の経過】 なし	
	【事業の概要】 コンベンション誘致活	動
	【事業の成果】 鳥取県コンベンション	誘致説明会でPR活動を実施
	【今後の課題・方向性】 関係団体や交流自治体 する。	との連携により、今後も観光PRとコンベンション誘致活動を展開
事務事業の実施概要		

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
指	1	コンペンション誘致活動の実施	100%	100%	100%	100%	
標達成	2	姫路市・岡山市と連携したPR活動の実施	100%	100%	0%	0%	
率	3						

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
年度計画の進捗度	□ 1. 計画を上回る □ 2. 計画どおり	令和元年度の幹事市(岡山市)の都合により、HOTトライアングル事業全体が延期したため。
3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より 当該年度で予定した事業が3月末時点でどのよう な進捗状況となったか。	■ 3. 事業未完了	
事業の成果	□ 1. 目標を大幅に上回る	令和元年度の幹事市(岡山市)の都合により、HOTトライアングル事業全体が
事 术 以 从	□ 2. 目標を上回る	延期したため
6. 活動指標の達成率 【CHECK】より 「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未	□ 3. 概ね目標どおり	
満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、 「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に	□ 4. 目標を下回る	
下回る」※最も達成度の低い指標で評価	■ 5. 目標を大幅に下回る	

OSSISTE EXCUSES				
□ 1. 拡充	□ 1−1	意図的に拡充	□ 4-1	意図的に縮小
■ 2. 改善継続	□ 1-2	制度的に自然増加	□ 4-2	制度的に自然減少
□ 3. 現状維持	■ 2-1	手段等の改善	□ 5−1	臨年実施等、意図的に休止
□ 4. 縮小	□ 2-2	効率化、簡素化	□ 5-2	意図的に廃止
□ 5. 休止、廃止、終了	□ 2-3	他事業との統合	□ 5-3	制度的に終了
関係団体と情報共有し、必要に応じ	手段の改善を請	 貫じながら事業を推進する。		
	■ 2. 改善継続 □ 3. 現状維持 □ 4. 縮小 □ 5. 休止、廃止、終了	□ 1. 拡充 ■ 2. 改善継続 □ 3. 現状維持 □ 4. 縮小 □ 5. 休止、廃止、終了 □ 2-3	□ 1. 拡充 □ 1-1 意図的に拡充 ■ 2. 改善継続 □ 1-2 制度的に自然増加 □ 3. 現状維持 ■ 2-1 手段等の改善 □ 4. 縮小 □ 2-2 効率化、簡素化	□ 1. 拡充 □ 1-1 意図的に拡充 □ 4-1 ■ 2. 改善継続 □ 1-2 制度的に自然増加 □ 4-2 □ 3. 現状維持 □ 2-1 手段等の改善 □ 5-1 □ 4. 縮小 □ 2-2 効率化、簡素化 □ 5-2 □ 5. 休止、廃止、終了 □ 2-3 他事業との統合 □ 5-3

 事務事業コート
 017500
 重点施策
 該当なし
 令和元年度 第10次鳥取市総合計画

 事務事業名
 「恋人の聖地/白兎海岸」推進事業
 所属名
 経済観光部
 観光・ジオパーク推進課

1. 基本情報

11 000	110 100						
_位 総	体系区分	コード		名 称		事業区分名称	区分
置合	まちづくりの目標	20	新しいにぎわいのある。	まち	事業期間	全期	
位置づけ	政策	02	地域資源を生かしたま	ちづくり			
''	施策	2201	滞在型観光の推進		根拠法令、 根拠計画等		
14	目標の種別			平成28年度	令和2年度	IKIZII E 4	
目 海	観光入込客数(年間)		301万人	326万人	事業分類区分	ソフト(任意)	
目標の	国際観光客サポートセンター案内件数(年間)			6,520人	10,000人	運営方法	直営
				0	0	会計区分	一般会計
予算	予算事業名 「恋	5人の聖地/	(白兎海岸」推進事業費			予算事業コード	01-06-01-03-01-18

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

観光客、県外のメディアや旅行会社等
白兎海岸を積極的にPRし、観光客の増加を図る。
「恋人の聖地/白兎海岸」の磨き上げや情報発信。 地元観光協会が実施する集客イベントへの支援。
地儿戦儿励云が天旭りの朱谷1、ソーバンソ人仮。

3. 事業の年度別計画・実績 【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

<u>J.</u>	事業の年度別計画・美額【PLAN・DO】 ※年度別の取り組みを間深に記入											
			平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度					
内容	年度	E別計画	①白兎まつり開催支援 ②白兎海岸周辺景観維 持 ③「恋人の聖地」全国 活動への参画	①白兎まつり開催支援 ②白兎海岸周辺景観維 持 ③「恋人の聖地」全国 活動への参画	①白兎まつり開催支援 ②白兎海岸周辺景観維 持 ③「恋人の聖地」全国 活動への参画	①白兎まつり開催支援 ②白兎海岸周辺景観維 持 ③「恋人の聖地」全国 活動への参画	①白兎まつり開催支援 ②白兎海岸周辺景観維 持 ③「恋人の聖地」全国 活動への参画 ④白兎周辺地域魅力創 造会議の開催					
ם	年度	ξ別実 績	①地元観光協会と連携 したまつり開催 ②景観維持を実施 ③「恋人の聖地」と連 携した情報発信を実施	①地元観光協会と連携 したまつり開催 ②景観維持を実施 ③「恋人の聖地」と連 携した情報発信を実施	①地元観光協会と連携 したまつり開催 ②景観維持を実施 ③「恋人の聖地」と連携した情報発信を実施	①地元観光協会と連携 したまつり開催 ②景観維持を実施 ③「恋人の聖地」と連 携した情報発信を実施						
		区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)					
	事業	費(A+B)	1,394	1,404	1,396	1,391	0					
_	直接	経費 A	672	672	672	672	0					
事業	± 1 ± 42	国・県	0	0	0	0	0					
費	直接経 費の財	地方債	0	0	0	0	0					
	源内訳	その他	0	0	0	0	0					
		一般財源	672	672	672	672	0					
<u> </u>	人	牛費 B	722	732	724	719	0					
朏	員数の	正規職員	0.10	0.10	0.10	0.10	0.00					
	内訳	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00					
		臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00					

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
		白兎海岸周辺観光客入込数	壬人	目標	680	685	690	690	690
	1		一八	実績	634	605	597	491	0
		(指標の説明) R1年度より実績に合わ	せ、H30	年度目	標値を基準に下	方修正			
活動				目標	0	0	0	0	0
動指	2			実績	0	0	0	0	0
標		(指標の説明)							
				目標	0	0	0	0	0
	3			実績	0	0	0	0	0
		(指標の説明)							

5.	令和元年度の事務事業実施概要	[DO]	※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)
		【問合せ先】観光振興係	0857-30-8292
		【10次総の施策体系】2	2201
		【予算計上の経過】 予算事業別概要目次:	当初予算・P123(経047)
		性化センターが全国展 法人に対し活動負担金 2 白兎周辺の景観形成 3 白兎まつりのイベン	2 rem / 90
	事務事業の実施概要		こ参画した情報発信の実施 し景観の維持管理を実施 するイベントを支援
			ロナウイルス感染症の影響により入込客数が減少する中、道の駅 リアと連携し新たな誘客方策について検討していく。

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
指	1	白兎海岸周辺観光客入込数	93%	88%	87%	71%	
標達成	2						
率	3						

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
年度計画の進捗度	□ 1. 計画を上回る ■ 2. 計画どおり	
3. 事業の年度別計画・実績 【PLAN・DO】より 当該年度で予定した事業が3月末時点でどのよう な進捗状況となったか。	□ 3. 事業未完了	
事業の成果	□ 1. 目標を大幅に上回る□ 2. 目標を上回る	鳥取西道路開通に伴う道路環境の変化に加え、新型コロナウイルス感染症の 影響により観光客が減少したため。
6. 活動指標の達成率 【CHECK】より 「150%以上: 大幅に上回る」、「101%~150%未	□ 3. 概ね目標どおり	
満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、 「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に	■ 4. 目標を下回る	
下回る」※最も達成度の低い指標で評価	□ 5. 目標を大幅に下回る	

	■ 1. 拡充	■ 1-1 意図的に拡充	□ 4-1 意図的に縮小
	□ 2. 改善継続	□ 1-2 制度的に自然増加	□ 4-2 制度的に自然減少
今後の方向性	□ 3. 現状維持	□ 2-1 手段等の改善	□ 5-1 臨年実施等、意図的に休止
	□ 4. 縮小	□ 2-2 効率化、簡素化	□ 5-2 意図的に廃止
	□ 5. 休止、廃止、終了	□ 2-3 他事業との統合	□ 5-3 制度的に終了
担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由が わかるよう、数値等を用いた具体的な 成果と、今後の改善プランを記載)	ついて検討していく。	ス感染症の影響により入込客数が減少する中、	道の駅や地元観光協会、近隣エリアと連携し新たな誘客方策に

 事務事業コート
 017600
 重点施策
 まちづくり
 令和元年度 第10次鳥取市総合計画

 事務事業名
 山陰海岸ジオパーク事業
 所属名
 経済観光部
 観光・ジオパーク推進課

1. 基本情報

	- E-FIRE									
_位 総	体系区分	コード		名 称		事業区分名称	区分			
位置づけ総合計画の	まちづくりの目標	20	新しいにぎわいのあるまち			事業期間	全期			
づ闘	政策	02	地域資源を生かしたまちづくり							
''	施策	2201	滞在型観光の推進			根拠法令、 根拠計画等				
	目標の種別			平成28年度	令和2年度	IKIZII E 4				
目 無策	観光入込客数(年間)		301万人	326万人	事業分類区分	ソフト(任意)				
標の	国際観光客サポートセンター案内件数(年間)		6,520人	10,000人	運営方法	直営				
				0	0	会計区分	一般会計			
予算	予算事業名 山澤	会海岸ジオ/	ペーク事業費			予算事業コード	01-06-01-03-30-01			

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

	観光客、鳥取市民等
対象 (何を、誰を)	
意図 (どのような状態 にするために)	鳥取砂丘、白兎海岸などのジオサイトに訪れていただき、貴重な地質遺産とそれらがもたらす多彩な自然を背景にした文化や歴史に見て触れて楽しみながら、教育、観光振興、産業振興などに活かし地域の活性化を図る。
手段 (どうするのか)	保護・保全、教育、産業振興、観光振興、情報収集・発信に関する各プロジェクトを推進する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

			平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
内容	年度別計画		①シ゚オペークの普及啓発	①ジオバークの普及啓発 ②日本ジオバークネットワーク(JGN)の 再認定	①ジオバークの普及啓発 ②世界ジオバークネットワーク(GGN)の 再認定	⊕ジオパークの普及啓発	①ジオパ−クの普及啓発
			・教育、調査研究に関 する支援及びガイド研 修の実施 ・散策モデルコース看 板の設置	①シナバークの普及啓発 ・教育、研究に関する 支援及びガイ研修の 実施 ・普及看板等の設置 ・各種負担金等 ②2年間の条件付き再 認定とされた	①ジナバークの普及啓発 ・教育、研究に関する 支援及びガイ研修の 実施 ・普及看板等の設置 ・各種負担金等 ②再認定された	①シオバークの普及啓発 ・教育、研究に関する 支援及びガイ研修の 実施 ・普及看板等の設置 ・各種負担金等	①シオバーカの普及啓発 ・教育、研究に関する 支援及びガイ研修の 実施 ・普及看板等の設置 ・各種負担金等
		区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)
		貴(A+B)	24,211	46,779	30,909	32,123	0
事	直接	経費 A	24,211	37,478	,		0
業	古拉尔	国・県	4,161	6,370	4,360	9,542	0
費	直接経 費の財	地方債	0	0	0	0	0
	源内訳	その他	15,802	26,440	12,284	1,362	0
1	一般財源		4,248	4,668	7,022	14,029	0
	人作	‡費 B	0	9,301	7,243	7,190	0
職	員数の	正規職員	0.00	1.00	1.00	1.00	0.00
	_{貝数の} 内訳	嘱託職員	0.00	1.00	1.00	1.00	0.00
		臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度		
		【KPI】校外学習支援·現地研修参加者		目標	8000	8000	8000	10000	10000		
	1		人	実績	11627	4772	7540	10494	0		
		(指標の説明) 大基準値は平成26年度									
活動		【KPI】ガイド研修会の参加者人数	Į.	目標	0	0	40	40	40		
動指	2		人	実績	0	29	35	59	0		
標		(指標の説明) H30追加指標 基準値は平成29年度の実績									
		【KPI】鳥取砂丘ビジターセンター利用者数	Į.	目標	0	0	100000	400000	400000		
	3		人	実績	0	0	97331	284160	0		
		(指標の説明) H30追加指標 基準値は平成28年度の実績									

5. 令和元年度の事務事業実施概要 【DO】 ※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動) 【問合せ先】ジオパーク推進係 0857-30-8293 【10次総の施策体系】2201 【予算計上の経過】 予算事業別概要目次: 当初予算・P133 (経068) 【事業の概要】 教育(校外学習)・調査研究に関する支援及びガイド研修の実施 2 散策モデルコース看板の設置 3 各種負担金等(山陰海岸ジオパーク推進協議会、山陰海岸ジオウオーク、山陰海岸 ジオパークトレイル協議会負担金等) 【事業の成果】 ガイドの交流や研修を行うことで、学術的な知識を深めたり、ガイドスキルの向上を図 平成29年度 37,478千円 平成30年度 23,666千円 令和 元年度 24,933千円 事務事業の実施概要 【今後の課題・方向性】 平成30年度、世界ジオパークネットワーク (GGN) の再認定を受けた。引き続き山陰 海岸ジオパーク推進協議会、府県市町、地元住民等と連携しジオパーク推進に向けた取 組を強化していく。 ※その他財源の繰入金は、ふるさと納税基金繰入金。

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
指	1	【KPI】校外学習支援·現地研修参加者	145%	60%	94%	105%	
標達成	2	【KPI】ガイド研修会の参加者人数			88%	148%	
率	3	【KPI】鳥取砂丘ビジターセンター利用者数			97%	71%	

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
年度計画の進捗度	□ 1. 計画を上回る ■ 2. 計画どおり	計画通り事業を完了した。
3. 事業の年度別計画・実績 【PLAN・DO】より 当該年度で予定した事業が3月末時点でどのよう な進捗状況となったか。	□ 3. 事業未完了	
事業の成果		活動指標3については、鳥取砂丘に訪れる観光客に対して、イベントや企画展を実施したが目標値を達成することができなかった。活動指標1,2については、交流会等の回数を増やし目標を上回ることができた。
6. 活動指標の達成率 【CHECK】より 「150%以上: 大幅に上回る」、「101%~150%未	□ 3. 概ね目標どおり	は、久加云寺の四数を垣でし日信を上回ることがてきた。
満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、 「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に	■ 4. 目標を下回る	
下回る」※最も達成度の低い指標で評価	□ 5. 目標を大幅に下回る	

0. テネリルスというにて 7 次	, TIOITON THE TOTAL		
	□ 1. 拡充	□ 1-1 意図的に拡充	□ 4-1 意図的に縮小
	■ 2. 改善継続	□ 1-2 制度的に自然増加	□ 4-2 制度的に自然減少
今後の方向性	□ 3. 現状維持	■ 2-1 手段等の改善	□ 5-1 臨年実施等、意図的に休止
	□ 4. 縮小	□ 2-2 効率化、簡素化	□ 5-2 意図的に廃止
	□ 5. 休止、廃止、終了	□ 2-3 他事業との統合	□ 5-3 制度的に終了
担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由が わかるよう、数値等を用いた具体的な 成果と、今後の改善プランを記載)	啓発を一層推進していく。	ァトワークから再認定(グリーンカード)を受けています。	た。引き続き関係団体や府県市町で連携し、ジオパークの普及

 事務事業コード
 017700
 重点施策
 まちづくり
 令和元年度 第10次鳥取市総合計画

 事務事業名
 砂の美術館管理運営事業
 所属名
 経済観光部
 観光・ジオパーク推進課

1. 基本情報

*** ****	110 100						
_位 総	体系区分	コード		名 称		事業区分名称	区分
置計	まちづくりの目標	20	新しいにぎわいのあるまち			事業期間	全期
位置づけ	政策	02	地域資源を生かしたま	ちづくり			
''	施策	2201	滞在型観光の推進		根拠法令、 根拠計画等		
	目標の種別			平成28年度	令和2年度	IKIZII E 4	
目施	観光入込客数(年間)		301万人	326万人	事業分類区分	施設管理	
目標の	国際観光客サポートセンター案内件数(年間)		6,520人	10,000人	運営方法	指定管理	
				0	0	会計区分	一般会計
予算	予算事業名 砂の美術館管理運営費					予算事業コード	01-06-01-03-07-06

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

	鳥取砂丘砂の美術館の指定管理者及び総合プロデューサー
対象 (何を、誰を)	
意図 (どのような状態 にするために)	世界で唯一の砂像を専門に展示する砂の美術館の管理運営を行い本市の観光振興に寄与する。
手段 (どうするのか)	指定管理者制度により、管理経費の縮減と民間知識活用によるサービス向上を図る。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

			平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
内容	年度別計画 写		○砂の美術館の運営 (指定管理者: 観光コ ンペンション協会) ・3Dマッピング ・南米フェア 等 ②音声ガイドの導入	①砂の美術館の運営 (指定管理者:観光コ ンペンション協会) ②指定管理者選考	○砂の美術館の運営 (指定管理者:鳥取砂 丘砂の美術館活性化共 同企業体) ・北欧編サマーフェス ・小学生無料デー 等	○砂の美術館の運営 (指定管理者:鳥取砂 丘砂の美術館活性化共 同企業体) ・マハトマ・ガンディ 一SNSキャンペーン ・3Dマッピング 等 ②受変電設備改修設計 業務	①砂の美術館の運営 (指定管理者:鳥取砂 丘砂の美術店社化共 同企業体) ②受変電設備改修
T .	年度別実績			①砂の美術館の運営 (指定管理者:〜H30 年1月14日まで観光コ ンペンション協会、H3 0年1月15日〜砂の美術 館活性化共同企業体) ②使用料制から利用料 金制への変更と公募に よる新しい指定管理者 への更新	○砂の美術館の運営 (指定管理者:鳥取砂 丘砂の美術館活性化共 同企業体) ・北欧編サマーフェス ・小学生無料デー ・3Dマッピング 等	○砂の美術館の運営 (指定管理者:鳥取砂 丘砂の美術館活性化共 同企業体)・・マハトマ・ガンディ - マハトマ・ガンディ - SNSキャンペーン ・3Dマッピング 等 ②受変電設備改修設計 業務	
		区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)
	事業費	費(A+B)	220,190	275,395	48,488	51,533	0
<u> </u>	直接	経費 A	209,361	263,425	37,623	40,748	0
事業	±++ 47	国・県	0	0	0	0	0
費	直接経 費の財	地方債	0	0	0	1,900	0
	源内訳	その他	209,361	195,961	30,053	30,710	0
		一般財源	0	67,464	7,570	8,138	0
	人作	牛費 B	10,829	11,970	10,865	10,785	0
蚺	員数の	正規職員	1.50	1.50	1.50	1.50	0.00
	貝奴の 内訳	嘱託職員	0.00	0.50	0.00	0.00	0.00
		臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度		
		【KPI】砂の美術館入館者数	手人	目標	500	500	500	500	500		
	1		一八	実績	448	406	448	500	0		
		(指標の説明) 基準値は平成26年度(第7期)実績。									
活動	2			目標	0	0	0	0	0		
動指				実績	0	0	0	0	0		
標		(指標の説明)									
				目標	0	0	0	0	0		
	3			実績	0	0	0	0	0		
		(指標の説明)									

5. 令和元年度の事務事業実施概要	[DO]	※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)
	【問合せ先】観光政策係(0857-30-8291
	【10次総の施策体系】22	201
		á初予算・P131(経064) 5月補正・P 18(経005)
	7.0	において、指定管理者制度(利用料金利)によるサービス向上を 9発展と観光の振興を目指す。
事務事業の実施概要	平成30年度 37	3, 425千円(指定管理料等) 7, 623千円(総合プロデューサー料等)), 748千円(総合プロデューサー料等)
ず仂す木い大旭帆女		&合プロデューサーと連携しながら、新型コロナウイルス感染症 っに、誘客に向けた効果的なプロモーション等を展開していく。
	※その他財源の使用料は ※その他財源の諸収入は	は、行政財産使用料。 は、指定管理者からの固定納付金及び変動納付金。

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
指	1	【KPI】砂の美術館入館者数	90%	81%	90%	100%	
標達成	2						
率	3						

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
年度計画の進捗度	□ 1. 計画を上回る ■ 2. 計画どおり	展示テーマに沿ったイベントや、SNSを活用したキャンペーンなど、集客事業等を計画通り滞りなく完了した。
3. 事業の年度別計画・実績 【PLAN・DO】より 当該年度で予定した事業が3月末時点でどのよう な進捗状況となったか。	□ 3. 事業未完了	
事業の成果	□ 1. 目標を大幅に上回る	6期ぶりに目標である50万人を超え、500,309人であった。
事業の成本	■ 2. 目標を上回る	
6. 活動指標の達成率 【CHECK】より 「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未	□ 3. 概ね目標どおり	
満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、 「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に	□ 4. 目標を下回る	
下回る」※最も達成度の低い指標で評価	□ 5. 目標を大幅に下回る	

	□ 1. 拡充	□ 1−1	意図的に拡充	□ 4-1	意図的に縮小
	■ 2. 改善継続	□ 1-2	制度的に自然増加	□ 4-2	制度的に自然減少
今後の方向性	□ 3. 現状維持	■ 2-1	手段等の改善	□ 5−1	臨年実施等、意図的に休止
	□ 4. 縮小	□ 2-2	効率化、簡素化	□ 5-2	意図的に廃止
	□ 5. 休止、廃止、終了	□ 2-3	他事業との統合	□ 5-3	制度的に終了
担当課長の評価コメント	連携を図りながら、感染症予防対策	編」は、新型コ	コロナウイルス感染症の影響で7	月からの開館と)万人を達成した。 : なったが、総合プロデューサーや指定管理者と

 事務事業コート*
 017800
 重点施策
 該当なし
 令和元年度 第10次鳥取市総合計画

 事務事業名
 砂丘管理事業
 所属名
 経済観光部 観光・ジオパーク推進課

1. 基本情報

☆総	体系区分	コード		名 称		事業区分名称	区分
位置づけ	まちづくりの目標	20	新しいにぎわいのある。	まち	事業期間	全期	
づ闘	政策	02	地域資源を生かしたま	ちづくり	根拠法令、		
''	施策	2201	滞在型観光の推進	帯在型観光の推進			
1-		目標の種	別	平成28年度	令和2年度	根拠計画等	
目 無 無	観光入込客数(年間	間)		301万人	326万人	事業分類区分	ソフト(任意)
標の	国際観光客サポートセンター案内件数(年間)			6,520人	10,000人	運営方法	直営
				0	0	会計区分	一般会計
予算	予算事業名 砂丘管理事業費				予算事業コード	01-06-01-03-08-01	

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

	観光客、鳥取市民等
対象 (何を、誰を)	
	 鳥取砂丘の受入環境を整備し、来訪客に対するおもてなしの向上を図る。また市民に対し、鳥取砂丘への愛着や誇
意図	りの醸成を促す。
(どのような状態 にするために)	
127 07203127	
	砂丘及び周辺の景観保全、維持管理、ゴミ処理。ゴールデンウィーク時における砂丘周辺の渋滞対策。
手段	
(どうするのか)	

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

			亚芹的左连	ᄑᅷᅂᄯᄨ	ᄑᅷᅆᄯᄨ		今知った中
			平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
内容	の景観保 ③GW等の 年度別計画 管理		②鳥取砂丘および周辺 の景観保全、維持管理 ③GW等の波滞対策 ④砂丘周辺施設の維持 管理	①砂丘海岸の漂着ゴミ 処理 ②鳥取砂丘および周辺 の景観保全・維持管理 ③GW等の渋滞対策 ④砂丘周辺施設の維持 管理	③GW等の渋滞対策 ④砂丘周辺施設の維持 管理	①砂圧海岸の漂着ゴミ 処理 ②鳥取砂丘および周辺 の景観保全・維持管理 ③GW等の渋滞対策 ④砂丘周辺施設の維持 管理	①砂圧海岸の漂着ゴミ 処理 の島取砂丘および周辺 の景観保全・維持管理 ③GW等の渋滞対策 ・砂丘周辺施設の維持 管理
ī	年度	別実績	①漂着ゴミの収集・運 嫌・処理(3.6t) ②砂丘ボランティア除 草(4.2t) ③臨時駐車場開設、臨 時路線バスの運行、交 通誘導員の配置など ④市営砂丘駐車場等施 設の維持修繕など	①砂丘海岸の漂着ゴミ 処理 ②鳥取砂丘および周辺 の景観保全・維持管理 ③GW等の渋滞対策 ④砂丘周辺施設の維持 管理	②鳥取砂丘および周辺 の景観保全・維持管理 ③GW等の渋滞対策 ④砂丘周辺施設の維持	①潔者ゴミの収集・運 搬・処理(3.6t) ②砂丘ボランティア除 草(7.5t) ③臨時駐車場開設、臨時ペスの運行、交通誘 導員の配置等 ④飛砂除去等	
	[区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)
	事業費	貴(A+B)	33,806	40,918	38,336	65,736	0
I_	直接	経費 A	33,806	29,939	31,093	58,546	0
事業		国∙県	1,338	1,097	1,288	5,644	0
費	直接経 費の財	地方債	0	0	0	0	0
	源内訳	その他	32,234	28,597	4,116	10,998	0
1		一般財源	234	245	25,689	41,904	0
L	人作	‡費 B	0	10,979	7,243	7,190	0
℮	員数の	正規職員	0.00	1.50	1.00	1.00	0.00
	貝奴の 内訳	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
1		臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
		ボランティア除草参加人数	Į.	目標	7264	7300	7300	7300	7300	
	1		人	実績	7635	8255	4236	3927	0	
		(指標の説明)			•	•	-	-		
活動				目標	0	0	0	0	0	
動指	2			実績	0	0	0	0	0	
標		(指標の説明)								
				目標	0	0	0	0	0	
	3			実績	0	0	0	0	0	
		(指標の説明)								

5.	令和元年度の事務事業実施概要	【DO】 ※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)
		【問合せ先】ジオパーク推進係 0857-30-8293
		【10次総の施策体系】2201
		【予算計上の経過】 予算事業別概要目次:当初予算・P 1 3 2 (経 0 6 5)
		【事業の概要】 1 烏取砂丘海岸の漂着ゴミの収集・運搬・処理 2 鳥取砂丘及び砂丘周辺の景観保全、維持管理、清掃、ゴミ処理 3 連休時における鳥取砂丘周辺の渋滞対策の実施 4 鳥取砂丘未来会議負担金等
	事務事業の実施概要	【事業の成果】 1 鳥取砂丘海岸漂着ゴミ収集を実施(年1回) 2 ボランティア除草ゴミ及び一斉清掃ゴミ処分(可燃物7,520kg、産業廃棄物18m³) 3 ゴールデンウィーク渋滞対策の実施 4 砂丘関係施設への負担金等
		【今後の課題・方向性】 鳥取砂丘未来会議を中心に保護保全や利活用に取り組むなど、国立公園の維持管理につ とめた。また10連休となったゴールデンウィーク期間中の砂丘周辺道路の渋滞対策につ いては、臨時駐車場を増設し市民生活への影響を最小限に抑えることができた。今後も関 係団体と連携を深め、保全や利活用に取り組むとともに、一層のサービスの向上を目指す。
		※その他財源の財産収入は、土地貸付収入。 ※その他財源の諸収入は、鳥取砂丘周辺道路渋滞対策鳥取県負担金。

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
指	1	ボランティア除草参加人数	105%	113%	58%	54%	
標達成	2						
率	3						

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
年度計画の進捗度	□ 1. 計画を上回る ■ 2. 計画どおり	
3. 事業の年度別計画・実績 【PLAN・DO】より 当該年度で予定した事業が3月末時点でどのよう な進捗状況となったか。	□ 3. 事業未完了	
事業の成果	□ 1. 目標を大幅に上回る	猛暑と悪天候によりボランティア除草の実施回数が大幅に減少したため。
7 × 0 / 0, ×	□ 2. 目標を上回る	
6. 活動指標の達成率 【CHECK】より 「150%以上: 大幅に上回る」、「101%~150%未	□ 3. 概ね目標どおり	
満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、 「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に	■ 4. 目標を下回る	
下回る」※最も達成度の低い指標で評価	□ 5. 目標を大幅に下回る	

	□ 1. 拡充	□ 1−1	意図的に拡充	□ 4-1	意図的に縮小
	■ 2. 改善継続	□ 1-2	制度的に自然増加	□ 4-2	制度的に自然減少
今後の方向性	□ 3. 現状維持	■ 2-1	手段等の改善	□ 5−1	臨年実施等、意図的に休止
	□ 4. 縮小	□ 2-2	効率化、簡素化	□ 5-2	意図的に廃止
	□ 5. 休止、廃止、終了	□ 2-3	他事業との統合	□ 5-3	制度的に終了
担当課長の評価コメント	の砂丘周辺道路の渋滞対策について 全や利活用に取り組むとともに、-	は、臨時駐車場	場を増設し市民生活への影響を最		また10連休となったゴールデンウィーク期間中 ことができた。今後も関係団体と連携を深め、保

事務事業コード	017900	重点施策	該当なし	令和元年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	しゃんしゃん祭振り	1会補助事業	-	所属名 経済観光部 観光・ジオパーク推進課

1. 基本情報

11 0001	110 101						
_位 総	体系区分	コード		名 称	事業区分名称	区分	
置合	まちづくりの目標	20	新しいにぎわいのある。	まち	事業期間	全期	
位置づけ総合計画の	政策	02	地域資源を生かしたま	ちづくり	根拠法令、		
''	施策	2201	滞在型観光の推進	帯在型観光の推進			
	目標の種別			平成28年度	令和2年度	根拠計画等	
目 無策	観光入込客数(年間)			301万人	326万人	事業分類区分	ソフト(任意)
標の	国際観光客サポートセンター案内件数(年間)		6,520人	10,000人	運営方法	補助金交付	
				0	0	会計区分	一般会計
予算	予算事業名 しゃんしゃん祭振興会補助金			予算事業コード	01-06-01-03-06-11		

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

	鳥取しゃんしゃん祭振興会、鳥取市民
対象 (何を、誰を)	
意図 (どのような状態 にするために)	本市を代表するしゃんしゃん祭の開催を通じ、市民の連帯を深めるとともに、本市の観光振興を図る。
手段 (どうするのか)	鳥取しゃんしゃん祭振興会に対して、祭りの開催に伴う必要な経費の補助を行う。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

			平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
内容	年度別計画 生 年度別実績		①島取しゃんしゃん祭 振興会への補助	①鳥取しゃんしゃん祭 接興会への補助	①島取しゃんしゃん祭 振興会への補助	①鳥取しゃんしゃん祭 接興会への補助	①鳥取しゃんしゃん祭 接興会への補助
			①島取しゃんしゃん祭 振興会への補助 第52回大会の開催 (8月7日、13日〜15日) 、 来場者344千人、参加 連118連	①島取しゃんしゃん祭 接興会への補助 第53回大会の開催 (8月13日〜15日) 来場者359千人、参加 連119連	①島販しゃんしゃん祭 振舞会への補助 振等54回大会の開催 (8月13日~15日) 来場者319千人、参加 連120連	①島取しゃん/祭 接興会への補助 第55回大会の開催 (8月13日〜15日) 来場者332千人、参加 連111連	
	ı	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)
		貴(A+B)	23,597	25,441	28,080	32,676	0
<u> </u>	直接	経費 A	20,709	22,513	25,183	30,519	0
事業	± ++ 47	国∙県	0	0	0	0	0
費	直接経 費の財	地方債	0	0	0	0	0
	源内訳	その他	0	0	0	0	0
		一般財源	20,709	22,513	25,183	30,519	0
	人作	牛費 B	2,888	2,928	2,897	2,157	0
℮	員数の	正規職員	0.40	0.40	0.40	0.30	0.00
	貝奴の 内訳	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
		鳥取しゃんしゃん祭観客数	手人	目標	467	467	374	374	374
	1		一八	実績	344	359	319	332	0
		(指標の説明) 平成27年度より「しゃん	しゃんり	ィーク」:	が廃止となり集終	り期間が短くなっ	たことに伴い目	標数値を下方値	正
活動	2	参加連	連	目標	100	100	100	100	100
動指			圧	実績	118	119	120	111	0
標		(指標の説明)							
				目標	0	0	0	0	0
	3			実績	0	0	0	0	0
		(指標の説明)							

5. 令和元年度の事務事業実施概要	[DO]	※前年度の取り組みを具体的に記人(予算事務事業の事業概要と運動)
5. 令和元年度の事務事業実施概要事務事業の実施概要	【問合せ先】観光振興係 【10次総の施策体系】: 【予算計上の経過】 予算事業別概要 【事業の概要】 第55取回大会開催にか (鳥取しゃんしゃんと 【事業の成果】 第55取したんしゃ。 【事業332,400 (H28:344,7 参加連111連 (H28:118連、 【今後の課題・方向性】 新型コロナカルス感	2201 当初予算・P126 (経053) かる鳥取しゃんしゃん祭振興会への補助 振興会運営事業補助金) 3日~15日開催

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
指	1	鳥取しゃんしゃん祭観客数	74%	77%	85%	89%	
標達成	2	参加連	118%	119%	120%	111%	
率	3						

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
年度計画の進捗度	□ 1. 計画を上回る	
平及計画の延抄及	■ 2. 計画どおり	
3. 事業の年度別計画・実績 【PLAN・DO】より	□ 3. 事業未完了	
当該年度で予定した事業が3月末時点でどのよう な進捗状況となったか。		
は圧がれたになりにか。		
事業の成果	□ 1. 目標を大幅に上回る	
事業の成素	□ 2. 目標を上回る	
6. 活動指標の達成率 【CHECK】より 「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未	■ 3. 概ね目標どおり	
満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、 「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に	□ 4. 目標を下回る	
下回る」※最も達成度の低い指標で評価	□ 5. 目標を大幅に下回る	

	□ 1. 拡充	□ 1-1 意図的に拡充	□ 4-1 意図的に縮小
	■ 2. 改善継続	□ 1-2 制度的に自然増加	□ 4-2 制度的に自然減少
今後の方向性	□ 3. 現状維持	■ 2-1 手段等の改善	□ 5-1 臨年実施等、意図的に休止
	□ 4. 縮小	□ 2-2 効率化、簡素化	□ 5-2 意図的に廃止
	□ 5. 休止、廃止、終了	□ 2-3 他事業との統合	□ 5-3 制度的に終了
	予防対策等を検討していく。	を受け第56回大会は中止となった。第57回	T大会の開催に向け、鳥取しゃんしゃん祭振興会と連携し、感染

 事務事業コート
 018000
 重点施策
 まちづくり
 令和元年度 第10次鳥取市総合計画

 事務事業名
 観光産業育成支援事業
 所属名
 経済観光部 観光・ジオパーク推進課

1. 基本情報

*** ***	114 164						
_位 総	体系区分	コード		名 称		事業区分名称	区分
置合	まちづくりの目標	20	新しいにぎわいのある。	まち	事業期間	平成22年度 ~ 全期	
位置づけ総合計画の	政策	02	地域資源を生かしたまちづくり				
''	施策	2201	滞在型観光の推進		根拠法令、 根拠計画等		
	目標の種別			平成28年度	令和2年度	IKIZII E 4	
目 無策	観光入込客数(年間	間)		301万人	326万人	事業分類区分	ソフト(任意)
標の	国際観光客サポートセンター案内件数(年間)			6,520人	10,000人	運営方法	補助金交付
•••				0	0	会計区分	一般会計
予算	予算事業名 観光	光産業育成	支援事業費			予算事業コード	01-06-01-03-29-01

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

	観光事業者等
対象 (何を、誰を)	
意図 (どのような状態 にするために)	観光事業者等が本市観光産業の健全な発展のために行う事業を支援し、本市の観光産業育成及び観光振興を図る。
手段 (どうするのか)	観光事業者等が行う観光施設改修や観光誘客・広報宣伝などの取組に対し、支援を行う。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

			平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
内容	年度	別計画	①観光事業者等が観光 施設改修や誘客、広報 遺伝に係る誘事業を実施 した場合に支援	①観光事業者等が観光 施設広修や誘客、広報 宣伝に係る事業を実施 した場合に支援		○観光事業者等が観光 施設化修や誘奪業を表施 恒伝に係る活業を した場合に支援 ②鳥取西道路沿線地域 において観光事業が が実施するおもでなし 向上に関する事業等に 支援	①観光事業者等が観光 施設 が修や誘答・広報 直弦に係る事業を実施 した場合に支援
Ф	年度別実績		①補助件数:14件	①補助件数:12件	①補助件数:10件	①補助件数:8件 ②補助件数:9件	
	- 1	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)
		費(A+B)	4,402	4,255	3,746	9,239	0
<u>+</u>	直接	経費 A	2,958	2,791	2,297	4,925	0
事業	古拉尔	国・県	0	0	0	1,722	0
費	直接経 費の財	地方債	0	0	0	0	0
	源内訳	その他	0	0	0	0	0
		一般財源	2,958	2,791	2,297	3,203	0
	人作	‡費 B	1,444	1,464	1,449	4,314	0
職	員数の	正規職員	0.20	0.20	0.20	0.60	0.00
	貝奴の 内訳	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
		【KPI】鳥取砂丘・いなば温泉郷周辺の観光入込客数	万人	目標	301	307	313	320	326	
	1		刀人	実績	287	263	269	295	0	
		指標の説明)観光地における入込客。基準値は平成26年度実績。								
活動		補助件数	件	目標	10	10	10	20	10	
動指	2		17	実績	14	12	10	17	0	
標		(指標の説明)補助により支援を行なった件数。令和元年度は新規補助金施行に伴い、目標値を変更。								
				目標	0	0	0	0	0	
	3			実績	0	0	0	0	0	
		(指標の説明)								

5. 令和元年度の事務事業実施概要 【DO】

【問合せ先】観光政策係 0857-30-8291

【10次総の施策体系】2201

【予算計上の経過】

予算事業別概要目次:当初予算・P130(経061)

【事業の概要】

- 1 鳥取市観光産業育成支援事業補助金
 - ・観光施設整備・改修事業への支援
 - ・観光客の誘客・広報宣伝への支援
- 2 鳥取市鳥取西道路沿線地域魅力づくり支援補助金

 - ・鳥取西道路沿線地域のおもてなし向上に資する事業への支援 ・鳥取西道路沿線地域の既存資源を活用した新たな観光資源の創出への支援

【事業の成果】

1 交付件数(鳥取市観光産業育成支援事業補助金)

平成 2 9 年度: 1 2 件(2, 7 9 1 千円) 平成 3 0 年度: 1 0 件(2, 2 9 7 千円) 令和 元年度: 8件(1, 4 8 2 千円)

2 交付件数 (鳥取市鳥取西道路沿線地域魅力づくり支援補助金)

令和 元年度: 9件(3,443千円)

【今後の課題・方向性】

新型コロナウイルス収束後の新たな生活様式に対応した受入環境の整備や、観 光需要回復のための取組を進める。

6. 活動指標の達成率【CHECK】

事務事業の実施概要

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
指	1	【KPI】鳥取砂丘・いなば温泉郷周辺の観光入込客数	95%	86%	86%	92%	
標達成	2	補助件数	140%	120%	100%	85%	
率	3						

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
年度計画の進捗度	□ 1. 計画を上回る ■ 2. 計画どおり	
3. 事業の年度別計画・実績 【PLAN・DO】より 当該年度で予定した事業が3月末時点でどのよう な進捗状況となったか。	□ 3. 事業未完了	
事業の成果	□ 1. 目標を大幅に上回る □ 2. 目標を上回る	
6. 活動指標の達成率 【CHECK】より 「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未	■ 3. 概ね目標どおり	
満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、 「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に	□ 4. 目標を下回る	
下回る」※最も達成度の低い指標で評価	□ 5. 目標を大幅に下回る	

	□ 1. 拡充	□ 1−1	意図的に拡充	□ 4-1	意図的に縮小
	□ 2. 改善継続	□ 1-2	制度的に自然増加	□ 4-2	制度的に自然減少
今後の方向性	■ 3. 現状維持	□ 2-1	手段等の改善	□ 5−1	臨年実施等、意図的に休止
	□ 4. 縮小	□ 2-2	効率化、簡素化	□ 5-2	意図的に廃止
	□ 5. 休止、廃止、終了	□ 2-3	他事業との統合	□ 5-3	制度的に終了
	新型コロナウイルス収束後の新たな	:生活様式に対応	こした受入環境の整備や、観光需	要回復のための)取組を進める。
担当課長の評価コメント					
(「今後の方向性」を判断した理由が わかるよう、数値等を用いた具体的な 成果と、今後の改善プランを記載)					

 事務事業コート
 018100
 重点施策
 該当なし
 令和元年度 第10次鳥取市総合計画

 事務事業名
 観光イベント等開催補助事業
 所属名
 経済観光部
 観光・ジオパーク推進課

1. 基本情報

*** ****	110 100						
_位 総	体系区分	コード		名 称		事業区分名称	区分
位置づけ	まちづくりの目標	20	新しいにぎわいのある。	まち	事業期間	全期	
	政策	02	地域資源を生かしたまちづくり			10 th > 1 A	
''	施策	2201	滞在型観光の推進		根拠法令、 根拠計画等		
	目標の種別			平成28年度	令和2年度	IKIZII E 4	
目施	観光入込客数(年間	観光入込客数(年間)			326万人	事業分類区分	ソフト(任意)
目標の	国際観光客サポートセンター案内件数(年間)			6,520人	10,000人	運営方法	補助金交付
				0	0	会計区分	一般会計
予算	予算事業名 観光	光イベント開	催補助金	_		予算事業コード	01-06-01-03-06-18

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	市民納涼花火大会、風紋広場青い鳥コンサート、鳥取三十二万石お城まつり、因幡和太鼓の祭典 各実行委員会
意図 (どのような状態 にするために)	各種イベント開催によって観光振興に伴う交流人口の拡大と滞在型観光の推進を図る。
手段 (どうするのか)	各イベント実行委員会等に対し補助金を交付し、イベント開催の支援を行う。

3. 事業の年度別計画・実績 【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

ა.	ず木の-	・素の中度別計画・美術【PLAN・DO】 ※年度別の取り組みを間深に記入									
			平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度				
内容	年度	E別計画	①青い鳥コンサート補助 ②市民納涼花火大会補助 ③鳥取三十二万石お城まつり補助	①青い鳥コンサート補助②市民納涼花火大会補助③鳥取三十二万石お城まつり補助④因幡和太鼓の祭典補助	⊕育い鳥コンサート補助豊市民納京花火大会補助3)鳥取三十二万石お城まつり補助④因幡和太鼓の祭典補助	⊕青い鳥コンサート補助豊市民納涼花火大会補助3)鳥取三十二万石お城まつり補助④囚幡和太鼓の祭典補助	①青い鳥コンサート補助②市民納涼花火大会補助③鳥取三十二万石お城まつり補助④因幡和太鼓の祭典補助				
	年度別実績		①青い鳥コンサート(7/23,30:4,300人)、 ②市民納涼花火大会(8/15:120,000人)、 急馬亚十二万石お城 まつり(10/2:10,000 人)	①青い鳥コンサート(3,800人) ②市民納涼花火大会(120,000人)、 ③鳥取三十二万石お城 まつり(12,000人) ④因幡和太鼓の祭典(8/6:537人)	①青い鳥コンサート(5,500人)、 ②市民納京花火大会(100,000人)、 ③鳥取三十二万石お城 まつり(台風の影響で 中止) ④因幡和太鼓の祭典(8/5:530人)	①青い鳥コンサート(5,700人)、 ②市民納涼花火大会(110,000人)、 ③島取三十二万石お城 まつり(9,000人) ④因幡和太鼓の祭典(500人)					
		区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)				
	事業費	費(A+B)	6,713	7,133	6,215	6,788	0				
=	直接	経費 A	5,269	5,669	4,766	6,069	0				
事業	± 1± 47	国・県	0	0	0	0	0				
費	直接経 費の財	地方債	0	0	0	0	0				
	源内訳	その他	0	0	0	0	0				
		一般財源	5,269	5,669	4,766	6,069	0				
<u> </u>	人作	牛費 B	1,444	1,464	1,449	719	0				
朏	員数の	正規職員	0.20	0.20	0.20	0.10	0.00				
	内訳	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00				
I		臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00				

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
		観客数	Į.	目標	145000	145000	140000	140000	140000
	1			実績	134300	135800	105500	125200	0
		(指標の説明) 4イベントの合計人数。平成30年度より集約イベントが減少していることに伴い目標数値を下方修正。							
活動				目標	0	0	0	0	0
動指	2			実績	0	0	0	0	0
標		(指標の説明)							
				目標	0	0	0	0	0
	3			実績	0	0	0	0	0
		(指標の説明)							

5. 令和元年度の事務事業実施概要 【DO】

【問合せ先】観光振興係 0857-30-8292

【10次総の施策体系】2201

【予算計上の経過】

予算事業別概要目次: 当初予算・P127 (経056)

【事業の概要】

各種観光イベントを支援することにより、観光誘客を図る。

- · 市民納涼花火大会(補助金交付先:新日本海新聞社)
- ・青い鳥コンサート (補助金交付先:実行委員会) ・鳥取三十二万石お城まつり (補助金交付先:実行委員会)
- ・因幡和太鼓の祭典(補助金交付先:鳥取市教育福祉振興会)

【事業の成果】

• 市民納涼花火大会

平成29年度:120,000人、平成30年度:100,000人、令和元年度:110,000人

・青い鳥コンサート 平成29年度: 3,800人、平成30年度: 5,500人、令和元年度: 5,700人 ・鳥取三十二万石お城まつり 平成29年度: 12,000人、平成30年度:台風の影響で中止、令和元年度: 9,000人

・因幡和太鼓の祭典

537人、平成30年度: 530人、令和元年度: 500人 平成29年度:

【今後の課題・方向性】

各イベントの新型コロナウイルスの感染予防対策等を主催者に確認しながら取り組む必 要がある。

6. 活動指標の達成率【CHECK】

事務事業の実施概要

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
指	1	觀客数	93%	94%	75%	89%	
標達成	2						
率	3						

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
年度計画の進捗度	□ 1. 計画を上回る	
	■ 2. 計画どおり	
3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より 当該年度で予定した事業が3月末時点でどのよう な進捗状況となったか。	□ 3. 事業未完了	
事業の成果	□ 1. 目標を大幅に上回る	
事業の放業	□ 2. 目標を上回る	
6. 活動指標の達成率 【CHECK】より 「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未	■ 3. 概ね目標どおり	
満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、 「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に	□ 4. 目標を下回る	
下回る」※最も達成度の低い指標で評価	□ 5. 目標を大幅に下回る	

O. TAKINAME PHONETE TIME	,		
·	□ 1. 拡充	□ 1-1 意図的に拡充	□ 4-1 意図的に縮小
	■ 2. 改善継続	□ 1-2 制度的に自然増加	□ 4-2 制度的に自然減少
今後の方向性	□ 3. 現状維持	■ 2-1 手段等の改善	□ 5-1 臨年実施等、意図的に休止
	□ 4. 縮小	□ 2-2 効率化、簡素化	□ 5-2 意図的に廃止
	□ 5. 休止、廃止、終了	□ 2-3 他事業との統合	□ 5-3 制度的に終了
	各イベントの新型コロナウイルスの)感染予防対策等を主催者に確認しながら取り組	む必要がある。
担当課長の評価コメント			
(「今後の方向性」を判断した理由が			
わかるよう、数値等を用いた具体的な			
成果と、今後の改善プランを記載)			
			· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·

 事務事業コート
 018200
 重点施策
 該当なし
 令和元年度 第10次鳥取市総合計画

 事務事業名
 観光ボランティア活性化事業
 所属名
 経済観光部
 観光・ジオパーク推進課

1. 基本情報

11 001	110 100						
_位 総	体系区分	コード		名 称	事業区分名称	区分	
置計	まちづくりの目標	20	新しいにぎわいのあるまち			事業期間	全期
位置づけ	政策	02	地域資源を生かしたま	ちづくり			
''	施策	2201	滞在型観光の推進			根拠法令、 根拠計画等	
14	目標の種別			平成28年度	令和2年度	IKIZII E 4	
目無	目施 観光入込客数(年間) 国際観光客サポートセンター案内件数(年間)		301万人	326万人	事業分類区分	ソフト(任意)	
標の			6,520人	10,000人	運営方法	補助金交付	
				0	0	会計区分	一般会計
予算	予算事業名 観	光ボランティ	ア活性化事業費			予算事業コード	01-06-01-03-01-12

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

	観光事業者、観光ボランティア活動団体等
対象 (何を、誰を)	
意図 (どのような状態 にするために)	観光ボランティアガイドの養成や、観光大学の開設を通じて、市全体のホスピタリティの向上を図る。
手段 (どうするのか)	観光大学を支援。 観光ボランティアガイドの活動を支援。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

ა.	3. 事業の年度別計画・実績 【PLAN・DO】 ※年度別の取り組みを簡潔に記入							
			平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
内容	年度	E別計画	①観光大学事業、観光 ボランティアガイド事 業	①観光大学事業、観光 ボランティアガイド事 業	①観光大学事業、観光 ボランティアガイド事 業	①観光大学事業、観光 ボランティアガイド事 業	①観光大学事業、観光 ボランティアガイド事 業	
1	年度	ξ別実 績	①ガイド件数:9,632 人 機光マイスター認定数 :36名	①ガイド件数:4,297 人 人 観光マイスター認定数 :24名	①ガイド件数:5,086 人 人 観光マイスター認定数 :23名	⊕ガイド件数:9,407 人 機光マイスター認定数 :28人		
		区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	
	事業	費(A+B)	3,910	3,968	3,945	3,313	0	
_	直接	経費 A	1,744	1,772	1,772	1,875	0	
事業	± 1 ± 42	国・県	0	0	0	0	0	
業費	直接経 費の財	地方債	0	0	0	0	0	
	源内訳	その他	0	0	0	0	0	
		一般財源	1,744	1,772	1,772	1,875	0	
	人	牛費 B	2,166	2,196	2,173	1,438	0	
贈	員数の	正規職員	0.30	0.30	0.30	0.20	0.00	
	り 内訳	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

÷	<i></i>	で投入することで天心した石動の人と							
		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
		鳥取砂丘・いなば温泉郷周辺観光入込客数(毎年7月 ごろ公表)	千人	目標	3010	3070	3130	3200	3260
	1			実績	2877	2630	2685	2949	0
l		(指標の説明)毎年7月ごろ鳥取県より)公表	-					
活動		観光ガイド利用者数	千人	目標	8	8	8	8	8
動指	2		一八	実績	9	4	5	9	0
標		(指標の説明)							
				目標	0	0	0	0	0
	3			実績	0	0	0	0	0
		(指標の説明)							

5. 令和元年度の事務事業実施概要	[DO]	※削年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と運動)
	【問合せ先】観光振興係	0857-30-8292
	【10次総の施策体系】2	201
	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次:当	á初予算・P 1 2 2 (経 0 4 6)
	2 観光大学を開催し、	ン、観光客に本市の魅力をPRする。 本市のホスピタリティの向上を目指す。 動金 補助金交付先:鳥取市観光コンベンション協会)
	【事業の成果】 1 ガイド利用者数:9 2 観光マイスター新規	
事務事業の実施概要	【今後の課題・方向性】 ホスピタリティ強化のだめる。	こめ、今後もガイド・観光マイスターの育成とスキルアップに努

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
指	1	鳥取砂丘・いなば温泉郷周辺観光入込客数(毎年7月ごろ公表)	96%	86%	86%	92%	
標達成	2	観光ガイド利用者数	113%	50%	63%	113%	
率	3						

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
年度計画の進捗度	□ 1. 計画を上回る	
平及前日002月及	■ 2. 計画どおり	
3. 事業の年度別計画・実績 【PLAN・DO】より	□ 3. 事業未完了	
当該年度で予定した事業が3月末時点でどのよう な進捗状況となったか。		
】 事業の成果	□ 1. 目標を大幅に上回る	
事業の成本	■ 2. 目標を上回る	
6. 活動指標の達成率 【CHECK】より 「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未	□ 3. 概ね目標どおり	
満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、 「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に	□ 4. 目標を下回る	
下回る」※最も達成度の低い指標で評価	□ 5. 目標を大幅に下回る	

□ 1. 拡充	□ 1−1	意図的に拡充	□ 4-1	意図的に縮小
■ 2. 改善継続	□ 1−2	制度的に自然増加	□ 4-2	制度的に自然減少
□ 3. 現状維持	■ 2-1	手段等の改善	□ 5−1	臨年実施等、意図的に休止
□ 4. 縮小	□ 2-2	効率化、簡素化	□ 5-2	意図的に廃止
□ 5. 休止、廃止、終了	□ 2-3	他事業との統合	□ 5-3	制度的に終了
ホスピタリティ強化のため、今後も	ガイド・観光ー	マイスターの育成とスキルアップ	『に努める	
	■ 2. 改善継続 □ 3. 現状維持 □ 4. 縮小 □ 5. 休止、廃止、終了	■ 2. 改善継続 □ 3. 現状維持 □ 4. 縮小 □ 5. 休止、廃止、終了 □ 2-3 □ 5. 休止、廃止、終了	■ 2. 改善継続 □ 3. 現状維持 □ 4. 縮小 □ 5. 休止、廃止、終了 □ 2-3 他事業との統合 ホスピタリティ強化のため、今後もガイド・観光マイスターの育成とスキルアップ	■ 2. 改善継続 □ 3. 現状維持 □ 4. 縮小 □ 5. 休止、廃止、終了 □ 5. 休止、廃止、終了 □ 2-3 他事業との統合 □ 5-3 □ 5-3 □ 5-3 □ 5-3

 事務事業コート
 018300
 重点施策
 該当なし
 令和元年度 第10次鳥取市総合計画

 事務事業名
 ループバス運行支援事業
 所属名
 経済観光部
 観光・ジオパーク推進課

1. 基本情報

	III IK						
_位 総	体系区分	コード	名 称			事業区分名称	区分
位置づけ総合計画の	まちづくりの目標	20	新しいにぎわいのある。	まち		事業期間	平成13年度 ~ 全期
づ闘	政策	02	地域資源を生かしたま	地域資源を生かしたまちづくり			
''	施策	2201	滞在型観光の推進			根拠法令、 根拠計画等	
		目標の種	別	平成28年度	令和2年度	IKIZII EI T	
目 無策	観光入込客数(年間	**		301万人	326万人	事業分類区分	ソフト(任意)
標の	国際観光客サポートセンター案内件数(年間)		6,520人	10,000人	運営方法	補助金交付	
				0	0	会計区分	一般会計
予算	予算事業名 ループバス運行支援助成費					予算事業コード	01-06-01-03-06-14

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

	観光客
対象 (何を、誰を)	
意図 (どのような状態 にするために)	主要な観光地を巡る観光周遊バス「ループ麒麟獅子」を運行することで、観光客の利便性の確保と滞在型観光の推進を図る。
手段 (どうするのか)	「ループ麒麟獅子」に係る業務を、鳥取市観光コンベンション協会に委託。

3. 事業の年度別計画・実績 【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

<u> </u>	学来 07-	十尺川川凹	·美稹【PLAN·DO】 平成28年度	亚战20年度	亚成20年度		取り組みを間深に記入
内:	年度	度別計画	平成28年度 ①ルーブバスの運行	平成29年度 ①ループバスの運行	平成30年度 ①ループバスの運行	令和元年度 ①ループバスの運行	令和2年度 ①ループバスの運行
容	年度別実績		①ループバスの運行 運行日数:138日間 便数:1日12便 乗車人数:40,552人	①ループバスの運行 運行日数:139日間 便数:1日12便 乗車人数:42,589人	①ループバスの運行 運行日数:141日間 便数:1日12便 乗車人数:42,896人	①ループバスの運行 運行日数:142日間 便数:1日12便 乗車人数:45,237人	
		区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)
	事業	費(A+B)	6,610	7,749	7,734	7,071	0
_	直接	経費 A	5,166	6,285	6,285	6,352	0
事業	± 1 ± 42	国・県	0	0	0	0	0
業費	直接経 費の財	地方債	0	0	0	0	0
	源内訳	その他	0	0	0	0	0
		一般財源	5,166	6,285	6,285	6,352	0
	人	牛費 B	1,444	1,464	1,449	719	0
賠	員数の	正規職員	0.20	0.20	0.20	0.10	0.00
	り 内訳	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度		
		乗車人数	Į.	目標	35000	36000	45000	45000	45000		
	1		人	実績	40552	42589	42896	45237	0		
		(指標の説明)乗車実績を踏まえ平成	指標の説明)乗車実績を踏まえ平成30年度以降の目標数値を上方修正								
活動				目標	0	0	0	0	0		
動指	2			実績	0	0	0	0	0		
標		(指標の説明)									
				目標	0	0	0	0	0		
	3			実績	0	0	0	0	0		
		(指標の説明)									

5.	令和元年度の事務事業実施概要	[DO]	※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)
		【問合せ先】観光振興係	0857-30-8292
		【10次総の施策体系】	2201
		【予算計上の経過】 予算事業別概要目次:	当初予算・P 1 2 7 (経 0 5 5)
		ーデンなどを周遊するル	取城跡、鳥取砂丘、鳥取港(かにっこ館)、湖山池ナチュラルガ ルートでバスを運行し、滞在型観光の推進を図る。 版替休日、夏季(8/1~8/31)
	事務事業の実施概要	平成30年度 42	589人(139日間) 896人(141日間) 237人(142日間)
			ぶ二次交通手段として維持するとともに、観光地のPRと併せ「 p度を向上させる取組を進める。

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
指	1	乗車人数	116%	118%	95%	101%	
標達成	2						
率	3						

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
年度計画の進捗度	□ 1. 計画を上回る ■ 2. 計画どおり	
3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より 当該年度で予定した事業が3月末時点でどのよう な進捗状況となったか。	□ 3. 事業未完了	
事業の成果	□ 1. 目標を大幅に上回る	
	■ 2. 目標を上回る	
6. 活動指標の達成率 【CHECK】より 「150%以上: 大幅に上回る」、「101%~150%未	□ 3. 概ね目標どおり	
満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、 「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に	□ 4. 目標を下回る	
下回る」※最も達成度の低い指標で評価	□ 5. 目標を大幅に下回る	

	□ 1. 拡充	□ 1−1	意図的に拡充	□ 4-1	意図的に縮小
	□ 2. 改善継続	□ 1−2	制度的に自然増加	□ 4-2	制度的に自然減少
今後の方向性	■ 3. 現状維持	□ 2-1	手段等の改善	□ 5−1	臨年実施等、意図的に休止
	□ 4. 縮小	□ 2-2	効率化、簡素化	□ 5-2	意図的に廃止
	□ 5. 休止、廃止、終了	□ 2-3	他事業との統合	□ 5-3	制度的に終了
	本市の主要な観光地を結ぶ二次交通	負手段として維持	寺するとともに、観光地のPRと	併せ「ループ劇	其鱗獅子」の認知度を向上させる取組を進める。
担当課長の評価コメント					
(「今後の方向性」を判断した理由が					
わかるよう、数値等を用いた具体的な					
成果と、今後の改善プランを記載)					

 事務事業コート
 018400
 重点施策
 該当なし
 令和元年度 第10次鳥取市総合計画

 事務事業名
 吉岡温泉活性化事業
 所属名
 経済観光部 観光・ジオパーク推進課

1. 基本情報

	I TIFI IA							
_位 総	体系区分	コード		名 称		事業区分名称	区分	
置合	まちづくりの目標	20	新しいにぎわいのあるまち			事業期間	全期	
位置づけ	政策	02	地域資源を生かしたま	也域資源を生かしたまちづくり				
''	施策	2201	滞在型観光の推進		根拠法令、 根拠計画等			
14		目標の種	別	平成28年度	令和2年度	IKIZII E 4		
目 海	観光入込客数(年	観光入込客数(年間)			326万人	事業分類区分	ソフト(任意)	
目標の	国際観光客サポートセンター案内件数(年間)			6,520人	10,000人	運営方法	補助金交付	
				0	0	会計区分	一般会計	
予算	予算事業名 吉	岡温泉活性	化事業費	<u> </u>	<u> </u>	予算事業コード	01-06-01-03-01-20	

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

	観光客、吉岡温泉町関係者
対象 (何を、誰を)	
	本市の滞在型観光拠点としての魅力向上と誘客強化を図る。
意図 (どのような状態 にするために)	
	地元主体で実施する誘客イベントへの支援、街なみ修景整備への支援、足湯出展によるPR活動への支援
手段 (どうするのか)	

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

			平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
内容	年度		①イベント出展による PR ②温泉地の魅力向上に 向けた温泉街の修景整 備に対する補助 ③イベント開催支援 ④温泉郷グランドデザ イン策定支援	①イベント出展による PR ②温泉地の魅力向上に 向けた温泉街の修景整 備に対する補助 ③イベント開催支援 ④新温泉館整備支援	①イベント出展による PR ②温泉地の魅力向上に 向けた温泉街の修景整 備に対する補助 ③イベント開催支援	①イベント出展による PR ②温泉地の魅力向上に 向けた温泉街の修景整 備に対する補助 ③イベント開催支援	①イベント出展による PR ②温泉地の魅力向上に 向けた温泉街の修景整 備に対する補助 ③イベント開催支援
į.	年度別実績		①足湯出展1回 ②修長整備補助2件 ③イベント開催1回 ④グランドデザイン策 定1件	①足湯出與1回 ②修景整備補助2件 ③イベント開催1回 ④新温泉館整備支援1 件	①足湯出展2回 ②修景整備補助2件 ③イベント開催1回	①足湯出展2回 ②修景整備補助2件 ③イベント開催1回	
	ı	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)
		費(A+B)	3,553	72,542	1,973	1,806	0
+	直接	経費 A	2,831	71,810	1,249	1,087	0
事業		国∙県	0	4,004	0	0	0
費	直接経 費の財	地方債	0	0	0	0	0
	源内訳	その他	2,830	59,797	1,249	1,087	0
		一般財源	1	8,009	0	0	0
	人作	井費 B	722	732	724	719	0
日本中	員数の	正規職員	0.10	0.10	0.10	0.10	0.00
	貝奴の 内訳	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

rii.	, (m.,	*と何人りることで美心した石割の人では	指標名 単位 区分 平成28年度 平成29年度 平成				ᄑᅷᇭᄼᄨ	人 和二左在	△ 4⊓0左曲
			甲四	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
		吉岡温泉入込客数	,	目標	26000	26500	27000	87500	88000
	1		人	実績	25356	25134	73756	109590	0
		(指標の説明) R1より新温泉会館の開	館に伴	い、当初	の目標値に新温	温泉会館の年間	目標値を足し上	げ、修正	
活				目標	0	0	0	0	0
動指	2			実績	0	0	0	0	0
標		(指標の説明)							
				目標	0	0	0	0	0
	3			実績	0	0	0	0	0
		(指標の説明)							

(うら) 5. 令和元年度の事務事業実施概要 【DO】 ※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動) 【問合せ先】観光振興係 0857-30-8292 【10次総の施策体系】2201 【予算計上の経過】 予算事業別概要目次: 当初予算・P123 (経048) 【事業の概要】 1 イベントに足湯を出展し、吉岡温泉のPRを行う 2 旅館組合または町内会が実施する修景整備事業に対し補助を行う (吉岡温泉まちなみ整備事業補助金 補助金交付先: 湯菜花ほか1件) 3 吉岡温泉ホタルまつりのイベント支援を行い、誘客を図る (吉岡温泉ホタルまつり事業補助金 補助金交付先:実行委員会) 【事業の成果】 1:2回開催 2:2件支援 3:1回開催 事務事業の実施概要 吉岡温泉の入込客数 平成29年度 25,134人 平成30年度 73,756人 令和 元年度 109,590人 【今後の課題・方向性】 鳥取西道路の開通効果と新温泉会館のオープンによる誘客効果を維持するとともに、引き 続き、温泉地としての魅力向上と集客強化を図る。

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
指	1	吉岡温泉入込客数	98%	95%	273%	125%	
標達成	2						
率	3						

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
年度計画の進捗度	□ 1. 計画を上回る	
平及前日002月及	■ 2. 計画どおり	
3. 事業の年度別計画・実績 【PLAN・DO】より	□ 3. 事業未完了	
当該年度で予定した事業が3月末時点でどのよう な進捗状況となったか。		
】 事業の成果	□ 1. 目標を大幅に上回る	
事業の成本	■ 2. 目標を上回る	
6. 活動指標の達成率 【CHECK】より 「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未	□ 3. 概ね目標どおり	
満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、 「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に	□ 4. 目標を下回る	
下回る」※最も達成度の低い指標で評価	□ 5. 目標を大幅に下回る	

O. TANIMAKE MICHELIA	TO TO THE LANGUAGE		
	□ 1. 拡充	□ 1-1 意図的に拡充	□ 4-1 意図的に縮小
	□ 2. 改善継続	□ 1-2 制度的に自然増加	□ 4-2 制度的に自然減少
今後の方向性	■ 3. 現状維持	□ 2-1 手段等の改善	□ 5-1 臨年実施等、意図的に休止
	□ 4. 縮小	□ 2-2 効率化、簡素化	□ 5-2 意図的に廃止
	□ 5. 休止、廃止、終了	□ 2-3 他事業との統合	□ 5-3 制度的に終了
	鳥取西道路の開通効果と新温泉会館	3のオープンによる誘客効果を維持するとともに	、引き続き、温泉地としての魅力向上と集客強化を図る。
担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由が わかるよう、数値等を用いた具体的な 成果と、今後の改善プランを記載)			

 事務事業コート
 018500
 重点施策
 該当なし
 令和元年度 第10次鳥取市総合計画

 事務事業名
 宣伝推進事業
 所属名
 経済観光部 観光・ジオパーク推進課

1. 基本情報

	ET THE IX									
_位 総	体系区分	コード	名 称			事業区分名称	区分			
位置づけ総合計画の	まちづくりの目標	20	新しいにぎわいのある。	新しいにぎわいのあるまち			全期			
づ闘	政策	02	地域資源を生かしたまちづくり							
''	施策	2201	滞在型観光の推進			根拠法令、 根拠計画等				
	目標の種別			平成28年度	令和2年度	IKIZII E 4				
目 無策	観光入込客数(年間)			301万人	326万人	事業分類区分	その他			
標の	国際観光客サポートセンター案内件数(年間)		6,520人	10,000人	運営方法	直営				
				0	0	会計区分	一般会計			
予算	予算事業名 宣信	云推進事業	費			予算事業コード	01-06-01-03-02-02			

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

観光客、県外のメディアや旅行会社等
本市の観光資源を積極的にPRし、観光客の増加及び知名度アップを図る
県外旅行会社及びマスコミ・メディアへの観光プロモーションを行う

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

			平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
内容	年度別計画 ・		①県外旅行会社プロモーション ②マスコミへの情報提 供 ③観光パンフレット等 の製作	①県外旅行会社プロモーション ②マスコミへの情報提供 供 ③観光パンフレット等 の製作	①県外旅行会社プロモ ーション ②マスエミへの情報提 供 ③観光パンフレット等 の製作	①県外旅行会社プロモーション ②マスコミへの情報提供 供 ③観光パンフレット等 の製作	①県外旅行会社プロモーション ②マスコミへの情報提供 供 ③観光パンフレット等 の製作
			①旅行会社商談会 ②各種広告(新聞,情 餐雑誌等) ③観光パンフレット等 製作(鳥取旅時間、砂 の美術館PRパンフ等)	①旅行会社商談会 ②各種広告(新聞、情 報確誌等) ③観光パンフレット等 製作(鳥取旅時間、砂 の美術館PRパンプ等)	①旅行会社商談会 ②各種広告(新聞、情 報雑誌等) ③観光パンフレット等 製作(鳥取旅時間、砂 の美術館PRパンプ等)	①旅行会社商談会 ②各種広告(新聞、情 報雑誌等) ③観光パンフレット等 製作(鳥取旅時間等)	
		区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)
	事業費(A+B)		14,234	13,801	14,191	13,325	0
事	直接	経費 A	13,512	13,069	13,467	12,606	0
業	±+++	国•県	0	0	0	0	0
費	直接経 費の財	地方債	0	0	0	0	0
	源内訳	その他	0	0	0	0	0
		一般財源	13,512	13,069	13,467	12,606	0
	人作	井費 B	722	732	724	719	0
H	日粉の	正規職員	0.10	0.10	0.10	0.10	0.00
	員数の 内訳	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	H/ \	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4.											
		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度		
		鳥取砂丘・いなば温泉郷周辺観光入込客数	手人	目標	3010	3070	3130	3200	3260		
	1		1 /	実績	2877	2630	2685	2949	0		
		(指標の説明)	(指標の説明)								
活動		砂の美術館入場者数	土人	目標	500	500	500	500	500		
動指	2	'		実績	448	406	448	500	0		
標		(指標の説明)									
				目標	0	0	0	0	0		
	3			実績	0	0	0	0	0		
		(指標の説明)	(指標の説明)								

5. 令和元年度の事務事業実施概要	[DO]	※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)
	【問合せ先】観光振興係	0857-30-8292
	【10次総の施策体系】	2201
	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次:	当初予算・P124(経050)
	【事業の概要】 (1)県外旅行会社プ (2)マスコミ・メデ (3)観光パンフレッ	ィアへの情報提供
	【事業の成果】 ・旅行会社商談会 ・各種広告(新聞、情 ・観光パンフレット等	
事務事業の実施概要		響により減少した圏域内の観光需要の回復に向けて、観光客の周遊 果的な情報発信に取り組む。

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
指	1	鳥取砂丘・いなば温泉郷周辺観光入込客数	96%	86%	86%	92%	
標達成	2	砂の美術館入場者数	90%	81%	90%	100%	
率	3						

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
年度計画の進捗度	□ 1. 計画を上回る ■ 2. 計画どおり	
3. 事業の年度別計画・実績 【PLAN・DO】より 当該年度で予定した事業が3月末時点でどのよう な進捗状況となったか。	□ 3. 事業未完了	
事業の成果	□ 1. 目標を大幅に上回る □ 2. 目標を上回る	
6. 活動指標の達成率 【CHECK】より 「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未	■ 3. 概ね目標どおり	
満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、 「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に	□ 4. 目標を下回る	
下回る」※最も達成度の低い指標で評価	□ 5. 目標を大幅に下回る	

	□ 1. 拡充	□ 1-1 意図的	に拡充 □ 4−1	意図的に縮小
	□ 2. 改善継続	□ 1-2 制度的	こ自然増加 □ 4-2	制度的に自然減少
今後の方向性	■ 3. 現状維持	□ 2-1 手段等(の改善 □ 5-1	臨年実施等、意図的に休止
	□ 4. 縮小	□ 2-2 効率化.	簡素化 □ 5-2	意図的に廃止
	□ 5. 休止、廃止、終了	□ 2-3 他事業	_の統合 □ 5−3	制度的に終了
担当課長の評価コメント	新型コロナウイルスの影響により減	少した圏域内の観光需要の	回復に向けて、観光客の周遊性を	高める商品造成や効果的な情報発信に取り組む。
(「今後の方向性」を判断した理由が わかるよう、数値等を用いた具体的な				
成果と、今後の改善プランを記載)				

 事務事業コート
 018600
 重点施策
 該当なし
 令和元年度 第10次鳥取市総合計画

 事務事業名
 知名度アップイベント推進事業
 所属名
 経済観光部
 観光・ジオパーク推進課

1. 基本情報

_位 総	体系区分	コード	名 称			事業区分名称	区分
位置づけ	まちづくりの目標	20	新しいにぎわいのあるまち			事業期間	全期
づ画	政策	02	地域資源を生かしたまちづくり				
''	施策	2201	滞在型観光の推進			根拠法令、 根拠計画等	
	目標の種別			平成28年度	令和2年度	IKIZII E 4	
目 無 無	観光入込客数(年間)			301万人	326万人	事業分類区分	その他
標の	国際観光客サポー	トセンター案	内件数(年間)	6,520人	10,000人	運営方法	直営
				0	0	会計区分	一般会計
予算	予算事業名 知名度アップイベント推進事業費					予算事業コード	01-06-01-03-02-01

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

	観光客
対象 (何を、誰を)	
	本市の知名度向上を図り、本市の観光振興と地域経済の活性化に繋げる
意図 (どのような状態	
にするために)	
	県外での集客力のあるイベントや商業施設等において、誘客宣伝・広報活動などを行う
手段 (どうするのか)	

3. 事業の年度別計画・実績 【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

			平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
内容	年度	5別計画	①姉妹都市・交流都市 での観光PR ②関西・山陽等都市圏 でのプロモーション ③観光情報説明会での 旅行会社向け営業	①姉妹都市・交流都市での観光PR ②関西・は陽等都市圏でのプロモーション ③観光情報説明会での旅行会社向け営業	①姉妹都市・交流都市での観光PR ②関西・は陽等都市圏でのプロモーション ③観光情報説明会での旅行会社向け営業	①姉妹都市・交流都市 での観光PR ②関西・山陽等都市圏 でのプロモーション	①姉妹都市・交流都市 での観光PR ②関西・山陽等都市圏 でのプロモーション
			①姉妹都市・交流都市 での観光PR ②関西・山陽等都市圏 でのプロモーション ③観光情報説明会での 旅行会社向け営業	①姉妹都市・交流都市での親光PR ②関西・山陽等都市圏でのプロモーション ③観光情報説明会での旅行会社向け営業	①姉妹都市・交流都市 での観光PR ②関西・山陽等都市圏 でのプロモーション ③観光情報説明会での 旅行会社向け営業	①姉妹都市・交流都市 での観光PR ②関西・山陽等都市圏 でのプロモーション	
	I	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)
		貴(A+B)	4,051	4,158	6,182	3,731	0
_	直接	経費 A	2,607	2,694	4,733	3,012	0
事業		国∙県	0	0	0	0	0
費	直接経 費の財	地方債	0	0	0	0	0
	源内訳	その他	0	0	0	0	0
		一般財源	2,607	2,694	4,733	3,012	0
	人作	牛費 B	1,444	1,464	1,449	719	0
H本t	員数の	正規職員	0.20	0.20	0.20	0.10	0.00
	貝奴の 内訳	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

	指標名		単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
		鳥取砂丘・いなば温泉郷周辺観光入込客数	手人	目標	3010	3070	3130	3200	3260
	1		十八	実績	2877	2630	2685	2949	0
		(指標の説明) 鳥取県の統計による観	光入込:	客数	•	•	-	-	
活動				目標	0	0	0	0	0
動指	2			実績	0	0	0	0	0
標		(指標の説明)							
				目標	0	0	0	0	0
	3			実績	0	0	0	0	0
		(指標の説明)							

5. 令和元年度の事務事業実施概要		※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)
	【問合せ先】観光振興係	0857-30-8292
	【10次総の施策体系】2	2201
	【予算計上の経過】 なし	
	【事業の概要】 1 姉妹都市・交流都市・ 2 関西・山陽等都市圏・	での観光PR でのプロモーション
	【事業の成果】 1 3回 2 8回	
事務事業の実施概要	【今後の課題・方向性】 鳥取県、鳥取県観光連 本市の知名度向上と誘客	盟等と連携して、より宣伝効果の高いイベントへの参加を通じて 強化を図る。
	l	

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
指	1	鳥取砂丘・いなば温泉郷周辺観光入込客数	96%	86%	86%	92%	
標達成	2						
率	3						

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
年度計画の進捗度	□ 1. 計画を上回る ■ 2. 計画どおり	
3. 事業の年度別計画・実績 【PLAN・DO】より 当該年度で予定した事業が3月末時点でどのよう な進捗状況となったか。	□ 3. 事業未完了	
事業の成果	□ 1. 目標を大幅に上回る □ 2. 目標を上回る	
6. 活動指標の達成率 【CHECK】より 「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未	■ 3. 概ね目標どおり	
満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、 「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に	□ 4. 目標を下回る	
下回る」※最も達成度の低い指標で評価	□ 5. 目標を大幅に下回る	

0. 子木のが木に始めたた 7次	CANAL THE LACE OF THE PERSON O				
	□ 1. 拡充	□ 1−1	意図的に拡充	□ 4-1	意図的に縮小
	■ 2. 改善継続	□ 1-2	制度的に自然増加	□ 4-2	制度的に自然減少
今後の方向性	□ 3. 現状維持	■ 2-1	手段等の改善	□ 5−1	臨年実施等、意図的に休止
	□ 4. 縮小	□ 2-2	効率化、簡素化	□ 5-2	意図的に廃止
	□ 5. 休止、廃止、終了	□ 2-3	他事業との統合	□ 5-3	制度的に終了
	鳥取県、鳥取県観光連盟等と連携し	て、より宣伝ダ	効果の高いイベントへの参加を通	じて本市の知名	度向上と誘客強化を図る。
担当課長の評価コメント					
(「今後の方向性」を判断した理由が					
わかるよう、数値等を用いた具体的な					
成果と、今後の改善プランを記載)					

事務事業コート018700重点施策該当なし令和元年度 第10次鳥取市総合計画事務事業名鳥取砂丘新発見伝事業所属名経済観光部 観光・ジオパーク推進課

1. 基本情報

	IT IN						
点 総	体系区分	コード	名 称			事業区分名称	区分
位置づけ総合計画の	まちづくりの目標	20	新しいにぎわいのあるまち			事業期間	全期
づ直	政策	02	地域資源を生かしたまちづくり			10 160 14 A	
''	施策	2201	滞在型観光の推進			根拠法令、 根拠計画等	
	目標の種別			平成28年度	令和2年度	IKIZII EI T	
担 担 無	観光入込客数(年間	• /		301万人	326万人	事業分類区分	ソフト(任意)
標の	国際観光客サポー	国際観光客サポートセンター案内件数(年間)			10,000人	運営方法	補助金交付
- •				0	0	会計区分	一般会計
予算	予算事業名 鳥	D砂丘新発.	見伝事業負担金			予算事業コード	01-06-01-03-06-15

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

	鳥取砂丘新発見伝補助金申請者(観光振興イベント実施者など)
対象 (何を、誰を)	
意図 (どのような状態 にするために)	鳥取砂丘で民間主導のイベントを県・市・民間事業者が一体となり実施することで、地域経済の活性化並びに 砂丘の観光振興を図る。
手段 (どうするのか)	鳥取砂丘の新しい魅力を県内外に情報発信し、観光や文化面で地域の活性化を図るイベントの主催者に対し、 補助金を交付する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

			平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
内容	年度	別計画		①鳥取砂丘における民間主導のイベント開催を支援		①島取砂丘における民間主導のイベント開催を支援	①鳥取砂丘における民間主導のイベント開催を支援
			①補助金を交付	①補助金を交付	①補助金を交付	①補助金を交付	
			≪実績≫ 補助事業:6件 補助金額:6,766千円	《実績》 補助事業:4件 補助金額:2,971千円	《実績》 補助事業:10件 補助金額:7,426千円	《実績》 補助事業:8件 補助金額:5,381千円	
	年度	別実績					
	[区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)
		費(A+B)	8,210	4,434	8,875	6,819	0
事	直接	経費 A	6,766	2,970	7,426	5,381	0
業	±+÷ 4▽	国・県	0	0	0	0	
費	直接経 費の財	地方債	0	0	0	0	, and the second
	源内訳	その他	6,765	2,970	7,425	5,381	0
		一般財源	1	0	1	0	_
	人作	‡費 B	1,444	1,464	1,449	1,438	
職	員数の	正規職員	0.20	0.20	0.20	0.20	0.00
	内訳	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
		公募イベント実施数	件	目標	10	10	10	10	10
	1		1111	実績	6	4	10	8	0
		(指標の説明)		•		-			
活動				目標	0	0	0	0	0
動 指	2			実績	0	0	0	0	0
標		(指標の説明)							
				目標	0	0	0	0	0
	3			実績	0	0	0	0	0
		(指標の説明)							

5. 令和元年度の事務事業実施概要	【DO】 ※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業の事業の事業の事業の事業の事業の事業の事業の事業の事業の事業の事業の事	業概要と運動)
事務事業の実施概要	【BO】 ※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業 【問合せ先】ジオパーク推進係 0857-30-8293 【10次総の施策体系】2201 【予算計上の経過】 予算事業別概要目次:当初予算・P131(経063) 【事業の概要】 鳥取砂丘の魅力を発信するため、新しい発想のイベントを企画、実施していたの補助金制度 【事業の成果】 1 令和元年度採択事業・小鳥の家族 993千円・大人の遠足 1,000千円・すなばドッジフェスティバル 642千円・多鯰ケ池いかだレース 993千円・トライアスロン 3,409千円・トライアスロン 3,409千円・トライアスロン 3,409千円・ちびっこ砂丘探検隊 449千円 【今後の課題・方向性】 引き続き新たな支援制度で民間主導のイベント開催を支援することにより、砂多鯰ケ池のさらなる利活用を図るとともに、砂丘全体の滞在型観光に取り組み、たな魅力発信・活性化につなげていく。今後は事業名を「日本一のすなば魅力〇として支援する。 ※その他財源の繰入金は、ふるさと納税基金繰入金。	・だくため ・ での ・ で ・ で ・ で ・ で ・ で ・ で ・ で ・ で ・ で ・ で

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
指	1	公募イベント実施数	60%	40%	100%	80%	
標達成	2						
率	3						

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
年度計画の進捗度	□ 1. 計画を上回る	
	■ 2. 計画どおり	
3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より 当該年度で予定した事業が3月末時点でどのよう な進捗状況となったか。	□ 3. 事業未完了	
事業の成果	□ 1. 目標を大幅に上回る	
事業の放業	□ 2. 目標を上回る	
6. 活動指標の達成率 【CHECK】より 「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未	■ 3. 概ね目標どおり	
満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、 「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に	□ 4. 目標を下回る	
下回る」※最も達成度の低い指標で評価	□ 5. 目標を大幅に下回る	

	□ 1. 拡充	□ 1-1 意図的に拡充	□ 4-1 意図的に縮小
	■ 2. 改善継続	□ 1-2 制度的に自然増加	□ 4-2 制度的に自然減少
今後の方向性	□ 3. 現状維持	■ 2-1 手段等の改善	□ 5-1 臨年実施等、意図的に休止
	□ 4. 縮小	□ 2-2 効率化、簡素化	□ 5-2 意図的に廃止
	□ 5. 休止、廃止、終了	□ 2-3 他事業との統合	□ 5-3 制度的に終了
	在型観光に取り組み、砂丘の新たな		側や多鯰ケ池のさらなる利活用を図るとともに、砂丘全体の滯 名を「日本一のすなば魅力○ごと事業」として支援していく。

 事務事業コート
 018800
 重点施策
 該当なし
 令和元年度 第10次鳥取市総合計画

 事務事業名
 コンベンション誘致支援事業
 所属名
 経済観光部 観光・ジオパーク推進課

1. 基本情報

☆総	体系区分	コード		名 称		事業区分名称	区分
位置づけの	まちづくりの目標	20	新しいにぎわいのある。	まち		事業期間	平成15年度 ~ 全期
づ盟	政策	02	地域資源を生かしたま	ちづくり		10 th 1 th	
''	施策	2201	滞在型観光の推進		根拠法令、 根拠計画等		
14	目標の種別			平成28年度	令和2年度	IKIZII E 4	
担 担 策	観光入込客数(年間	間)		301万人	326万人	事業分類区分	その他
標の	国際観光客サポートセンター案内件数(年間)			6,520人	10,000人	運営方法	補助金交付
				0	0	会計区分	一般会計
予算	予算事業名 コン	/ベンション]	诱致支援事業費	•		予算事業コード	01-06-01-03-06-13

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

	本市でコンベンション等の大会を催す者
対象 (何を、誰を)	
*	本市へのコンベンション誘致を促進し、交流人口の拡大による地域経済の活性化を図る。
意図 (どのような状態	
にするために)	
	本市で大会、集会、研究会、企業コンベンション等を開催する者に対し、会場費や機材、看板制作費、会場までの交通費、郷土芸能出演等にかかる経費を助成する。
手段 (どうするのか)	Cの文地質、柳上云能山頂寺にかかる性質を切成する。
(2), (0),(1)	

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

			平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
内容	年度	別計画	①コンペンション等の 開催に係る経費補助	①コンペンション等の 開催に係る経費補助		①コンペンション等の 開催に係る経費補助	①コンペンション等の 開催に係る経費補助
	年度	別実績	①開催補助件数 ・ビューロー分29件 ・協会分49件 計78件	①開催補助件数 ・ビューロー分30件 ・協会分52件 計82件	①開催補助件数 ・ビューロー分25件 ・協会分36件 計61件	①開催補助件数 ・ビューロー分23件 ・協会分30件 計53件	
	[区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)
		≹(A+B)	12,822	12,249	9,935	9,372	
事	直接	経費 A	10,656	10,053	7,762	7,934	0
業	直接経	国・県	0	0	0	0	_
費	直接程費の財・	地方債	0	0	0	0	
	源内訳	その他	0	0	0	0	
	1.1	一般財源	10,656	10,053	,	7,934	
	人作	井費 B	2,166	2,196	2,173	1,438	
職	員数の	正規職員	0.30	0.30	0.30	0.20	0.00
	内訳	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
1		臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
		コンベンション開催件数	件	目標	76	76	76	76	76	
	1		111	実績	78	82	61	53	0	
		(指標の説明)								
活動				目標	0	0	0	0	0	
動 指	2			実績	0	0	0	0	0	
標		(指標の説明)	(指標の説明)							
				目標	0	0	0	0	0	
	3			実績	0	0	0	0	0	
		(指標の説明)	•							

5. 令和元年度の事務事業実施概要 【DO】

【問合せ先】観光振興係 0857-30-8292

【10次総の施策体系】2201

【予算計上の経過】

予算事業別概要目次: 当初予算・P126 (経054)

【事業の概要】

1 とっとりコンベンションビューローが行うコンベンション開催助成金交付制度の財源として、鳥取市開催分のコンベンションに対し、交付基準額の1/2を乗じて得た額以内で算出し、予算の範囲内で交付する。(とっとりコンベンションビューローへの間接補助)

2 上記の助成対象外となる延べ宿泊人数200人未満の小規模コンベンションについて、本市開催分に係る補助金制度を設け、コンベンションの種類に応じて予算の範囲内で補助金を交付する。(鳥取市観光コンベンション協会への間接補助)

事務事業の実施概要

【事業の成果】

開催補助件数

平成29年度: ビューロー 30件、協会 52件 計82件 平成30年度: ビューロー 25件、協会 36件 計61件 令和 元年度: ビューロー 22件、協会 30件 計52件

【今後の課題・方向性】

適正規模のコンベンションをより多く受け入れられるよう、引き続き、とっとりコンベンションビューロー及び観光コンベンション協会と連携を図る。

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
指	1	コンペンション開催件数	103%	108%	80%	70%	
標達成	2						
率	3						

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
年度計画の進捗度	□ 1. 計画を上回る ■ 2. 計画どおり	
3. 事業の年度別計画・実績 【PLAN・DO】より 当該年度で予定した事業が3月末時点でどのよう な進捗状況となったか。	□ 3. 事業未完了	
事業の成果	□ 1. 目標を大幅に上回る	新型コロナウイルス感染症の影響により、開催予定だったコンベンションが一 部中止となったため
7 × 0 / 0, ×	□ 2. 目標を上回る	部中止となったため
6. 活動指標の達成率 【CHECK】より 「150%以上: 大幅に上回る」、「101%~150%未	□ 3. 概ね目標どおり	
満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、 「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に	■ 4. 目標を下回る	
下回る」※最も達成度の低い指標で評価	□ 5. 目標を大幅に下回る	

	□ 1. 拡充	□ 1−1	意図的に拡充	□ 4-1	意図的に縮小
	■ 2. 改善継続	□ 1-2	制度的に自然増加	□ 4-2	制度的に自然減少
今後の方向性	□ 3. 現状維持	■ 2-1	手段等の改善	□ 5−1	臨年実施等、意図的に休止
	□ 4. 縮小	□ 2-2	効率化、簡素化	□ 5-2	意図的に廃止
	_ 11_100_1111		10 1 111 1 1101	□ 5-3	制度的に終了
	適正規模のコンベンションをより多	く受け入れられ	いるよう、引き続き、とっとりコ	ンベンションビ	ジューロー及び観光コンベンション協会と連携を
	図る。				
(「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な					
成果と、今後の改善プランを記載)	1				

 事務事業コート
 018900
 重点施策
 まちづくり
 令和元年度 第10次鳥取市総合計画

 事務事業名
 国際観光推進事業
 所属名
 経済観光部 観光・ジオパーク推進課

1. 基本情報

11 0001	110 100						
_位 総	体系区分	コード		名 称		事業区分名称	区分
置合	まちづくりの目標	20	新しいにぎわいのある。	まち	事業期間	全期	
位置づけ総合計画の	政策	02	地域資源を生かしたま	ちづくり			
''	施策	2201	滞在型観光の推進		根拠法令、 根拠計画等		
		目標の種	別	平成28年度	令和2年度	IKIZII EI T	
目 無策	観光入込客数(年間	間)		301万人	326万人	事業分類区分	その他
標の	国際観光客サポー	トセンター第	学内件数(年間)	6,520人	10,000人	運営方法	直営
				0	0	会計区分	一般会計
予算	予算事業名 国際	祭観光推進	事業費		予算事業コード	01-06-01-03-02-20	

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

	外国人観光客
対象 (何を、誰を)	
意図 (どのような状態 にするために)	東アジアを中心とした海外市場への効果的な誘客宣伝や広報活動、また受入体制を整備することにより、外国人観光客の誘客を図る。
	 海外大手旅行社へプロモーション委託を行い、諸外国でのプロモーション活動の実施や外国人観光客受入環境の整
手段 (どうするのか)	備を行う。

3. 事業の年度別計画・実績 【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

٥.	サネの-	十发끼引凹	·美稹【PLAN·DO】			公平及所(0)	取り組みを間深に記入
			平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
内容	年度	①国際観光客サポート センターの運営 ②海外市場への情報発 信 ③外国人向け二次交通 支援 (3) 中央 (4) 中央 (5) 中央 (5) 中央 (6) 中央 (①国際観光客サポート センターの運営 ②海外市場への情報発 信 ③外国人向け二次交通 支援 ④外国人向け高速バス 支援	①国際観光客サポート センターの運営 ②海外市場への情報発 信 ③外国人向け二次交通 支援 ④外国人向け高速パス 支援
	年度	E別実績	①サポートセンター利 用者数:9.846人 外国人延べ宿泊者数: 15,535人 ②海外プロモーション を展開(韓国、台湾、 香港・タイ) ③外国人タクシー利用 者数:7,121人	①サポートセンター利 用者数:10,332人 外国人延べ宿泊者数: 20,356人 ②海外プロモーション を展開(韓国、台湾、 香港、タイ、インドネ シア、マレーシア) ③外国人タクシー利用 者数:6,018人	①センター利用者数: 14,511人 外国人歴ペ宿泊者数: 24,892人 ②海外プロモーション 展開(韓国、台湾、香港・タイ、シンガポール、マレーシア) ③利用者数:6,376人 ④利用者数:3,162人	①センター利用者数: 13,035人 外国人延べ宿泊者数: 28,595人 ②海外プロモーション 展開台湾。タイ、欧 米豪) ③利用者数:8,083人 ④利用者数:2,380人	
		区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)
	事業費	費(A+B)	58,843	55,577	73,177	64,976	0
_	直接	経費 A	49,624	49,204	65,934	62,100	0
事業		国•県	11,833	8,059	13,515	15,380	0
費	直接経 費の財	地方債	0	0	0	0	0
	源内訳	その他	0	2,500	0	0	0
		一般財源	37,791	38,645	,	46,720	0
	人作	牛費 B	9,219	6,373	,		0
職	員数の	正規職員	1.00	0.60	1.00	0.40	0.00
	貝奴の 内訳	嘱託職員	1.00	1.00	0.00	0.00	0.00
1	臨時職員		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

	4. 貝原で投入することで美地した石割の人ささを表す相信【PLANTDO】									
		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
		【KPI】国際観光客サポートセンター利用者数	Į.	目標	6520	7180	11000	12000	16000	
	1		人	実績	9846	10332	14511	13035	0	
		(指標の説明) 基準値は平成26年度実績。								
活動		鳥取市外国人述べ宿泊者数	Į.	目標	9000	10000	25000	30000	35000	
動指	2		人	実績	15535	20356	24892	28595	0	
標		(指標の説明) 鳥取市に入ってくる外間	(指標の説明) 鳥取市に入ってくる外国人の述べ宿泊者数							
		外国人タクシー利用者数	Į.	目標	5000	5500	6000	6500	7000	
	3		人	実績	7121	6018	6376	8083	0	
		(指標の説明) 外国人タクシー利用者数								

5. 令和元年度の事務事業実施概要 【DO】

【問合せ先】観光振興係 0857-30-8292

【10次総の施策体系】2201

【予算計上の経過】

予算事業別概要目次: 当初予算 P125(経051)

【事業の概要】

- 1 国際観光客サポートセンターの運営
- 2 海外市場への情報発信とプロモーション活動
- 3 外国人観光客向けの二次交通支援
- 4 外国人観光客向けの高速バス支援

【事業の成果】

1 サポートセンター利用者数: 平成29年度 10,332人 平成30年度 14,511人 令和 元年度 13,035人

2台湾市場を中心としたプロモーション活動を実施

3 外国人観光客タクシー利用者数: 平成 2 9 年度 6,018 人 平成 3 0 年度 6,3 7 6 人

令和 元年度 8,083人

4外国人観光客高速バス利用者数:令和 元年度 2,380人

【今後の課題・方向性】

新型コロナウイルスの収束を見据え、引き続き外国人観光客の受入態勢の充実を図るとともに、効果的な海外プロモーションに取り組む。

6. 活動指標の達成率【CHECK】

事務事業の実施概要

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
指	1	【KPI】国際観光客サポートセンター利用者数	151%	144%	132%	109%	
標達成	2	鳥取市外国人述べ宿泊者数	173%	204%	100%	95%	
率	3	外国人タクシー利用者数	142%	109%	106%	124%	

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
年度計画の進捗度	□ 1. 計画を上回る	
平及前日002月及	■ 2. 計画どおり	
3. 事業の年度別計画・実績 【PLAN・DO】より	□ 3. 事業未完了	
当該年度で予定した事業が3月末時点でどのよう な進捗状況となったか。		
】 事業の成果	□ 1. 目標を大幅に上回る	
事業の成本	■ 2. 目標を上回る	
6. 活動指標の達成率 【CHECK】より 「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未	□ 3. 概ね目標どおり	
満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、 「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に	□ 4. 目標を下回る	
下回る」※最も達成度の低い指標で評価	□ 5. 目標を大幅に下回る	

O. TANDANCE BLONCIC TIX	**************************************		
	□ 1. 拡充	□ 1-1 意図的に拡充	□ 4-1 意図的に縮小
	□ 2. 改善継続	□ 1-2 制度的に自然増加	□ 4-2 制度的に自然減少
今後の方向性	■ 3. 現状維持	□ 2-1 手段等の改善	□ 5-1 臨年実施等、意図的に休止
	□ 4. 縮小	□ 2-2 効率化、簡素化	□ 5-2 意図的に廃止
	□ 5. 休止、廃止、終了	□ 2-3 他事業との統合	□ 5-3 制度的に終了
	新型コロナウイルスの収束を見据え	- 、引き続き外国人観光客の受入態勢の充実を図	るとともに、効果的な海外プロモーションに取り組む。
担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由が わかるよう、数値等を用いた具体的な 成果と、今後の改善プランを記載)			

 事務事業コート
 019000
 重点施策
 該当なし
 令和元年度 第10次鳥取市総合計画

 事務事業名
 観光協会等補助事業
 所属名
 経済観光部
 観光・ジオパーク推進課

1. 基本情報

11 000	110 100						
_位 総	体系区分	コード		名 称	事業区分名称	区分	
置合	まちづくりの目標	20	新しいにぎわいのある。	新しいにぎわいのあるまち			令和元年度 ~ 全期
位置づけ	政策	02	地域資源を生かしたまちづくり			10 th 1 th	
''	施策	2201	滞在型観光の推進			根拠法令、 根拠計画等	
14	目標の種別			平成28年度	令和2年度	IKIZII EI T	
目 海	観光入込客数(年間)			301万人	326万人	事業分類区分	その他
目標の	国際観光客サポートセンター案内件数(年間)		6,520人	10,000人	運営方法	補助金交付	
				0	0	会計区分	一般会計
予算	予算事業名 観光	光協会等補.	助金	_		予算事業コード	01-06-01-03-06-01

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

	(一社)鳥取市観光コンベンション協会
対象 (何を、誰を)	
÷	(一社) 鳥取市観光コンベンション協会の運営における観光振興事業を円滑に推進し、本市の観光振興を図る。
意図 (どのような状態	
にするために)	
	(一社) 鳥取市観光コンベンション協会の運営に要する経費を補助する。
手段 (どうするのか)	
(2), (30),	

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

			平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
内容	年度別計画 3		①鳥取市観光コンペンション協会の運営に要する経費の補助	①鳥取市観光コンペンション協会の運営に要する経費の補助	①鳥取市観光コンペンション協会の運営に要する経費の補助	①鳥取市観光コンペン ション協会の運営に要 する経費の補助	①鳥取市観光コンペン ション協会の運営に要 する経費の補助
	年度	別実績	①経費補助により事業 を支援。 ・商品企画造成事業 ・二次交通事業 ・観光案内事業	●経費補助により事業を支援。を支援。一商品企画造成事業二次交通事業観光案内事業	①経費補助により事業 を支援。 ・地域事業 ・観光案内事業	①経費補助により事業を支援。・地域事業・観光案内事業	
	[区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)
		費(A+B)	43,185	44,077	45,717	45,706	0
 	直接	経費 A	41,741	42,613	44,268	44,268	0
事業	± ++ 47	国∙県	0	0	0	0	0
費	直接経 費の財	地方債	0	0	0	0	0
	源内訳	その他	21,262	42,613	28,166	44,268	0
		一般財源	20,479	0	16,102	0	0
	人作	‡費 B	1,444	1,464	1,449	1,438	0
℮	員数の	正規職員	0.20	0.20	0.20	0.20	0.00
	貝致の 内訳	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
1		臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
		鳥取・いなば温泉郷観光客入込客数	壬人	目標	3010	3070	3130	3200	3260
	1		一八	実績	2877	2630	2685	2949	0
		(指標の説明)							
活動	2			目標	0	0	0	0	0
動指				実績	0	0	0	0	0
標		(指標の説明)							
				目標	0	0	0	0	0
	3			実績	0	0	0	0	0
1		(指標の説明)							

5. 令和元年度の事務事業実施概要	[DO]	※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)
	【問合せ先】観光政策係	0857-30-8291
	【10次総の施策体系】	2201
	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次:	当初予算・P125(経052)
		なる伸展を目的に組織されている、(一社)鳥取市観光コンベン る経費を補助することにより、観光振興事業を円滑に推進し、本
	【事業の成果】 観光案内事業など協会:	運営に要する経費を支援
事務事業の実施概要	【今後の課題・方向性】 本市の観光振興事業を る。	推進するため、引き続き観光コンベンション協会の運営を支援す
	※その他財源の繰入金	は、ふるさと納税基金繰入金。

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
指	1	鳥取・いなば温泉郷観光客入込客数	96%	86%	86%	92%	
標達成	2						
率	3						

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
年度計画の進捗度	□ 1. 計画を上回る	
	■ 2. 計画どおり	
3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より 当該年度で予定した事業が3月末時点でどのよう な進捗状況となったか。	□ 3. 事業未完了	
事業の成果	□ 1. 目標を大幅に上回る	
事業の放業	□ 2. 目標を上回る	
6. 活動指標の達成率 【CHECK】より 「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未	■ 3. 概ね目標どおり	
満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、 「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に	□ 4. 目標を下回る	
下回る」※最も達成度の低い指標で評価	□ 5. 目標を大幅に下回る	

	□ 1. 拡充	□ 1-1 意図的に拡充	□ 4-1	意図的に縮小
	■ 2. 改善継続	□ 1-2 制度的に自然増加	□ 4-2	制度的に自然減少
今後の方向性	□ 3. 現状維持	■ 2-1 手段等の改善	□ 5−1	臨年実施等、意図的に休止
	□ 4. 縮小	□ 2-2 効率化、簡素化	□ 5-2	意図的に廃止
	□ 5. 休止、廃止、終了	□ 2-3 他事業との統合	□ 5-3	制度的に終了
担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由が わかるよう、数値等を用いた具体的な 成果と、今後の改善プランを記載)		、引き続き観光コンベンション協会の運営を支	援する。	

 事務事業コート
 019100
 重点施策
 該当なし
 令和元年度 第10次鳥取市総合計画

 事務事業名
 因幡地域周遊バス運行支援助成事業
 所属名
 経済観光部 観光・ジオパーク推進課

1. 基本情報

	AI DIE						
点 総	体系区分	コード		名 称	事業区分名称	区分	
位置づけ総合計画の	まちづくりの目標	20	新しいにぎわいのある。	新しいにぎわいのあるまち			平成26年度 ~ 全期
づ直	政策	02	地域資源を生かしたまちづくり			10 160 14 A	
''	施策	2201	滞在型観光の推進			根拠法令、 根拠計画等	
	目標の種別			平成28年度	令和2年度	IKIZII EI T	
担 担 無	観光入込客数(年間)		301万人	326万人	事業分類区分	ソフト(任意)	
標の	国際観光客サポートセンター案内件数(年間)		6,520人	10,000人	運営方法	補助金交付	
- •				0	0	会計区分	一般会計
予算	予算事業名 因軸	番地域周遊	バス運行支援助成費			予算事業コード	01-06-01-03-06-31

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

	観光客
対象 (何を、誰を)	
÷	本市周辺観光地の周遊促進
意図 (どのような状態	
にするために)	
	(一社) 麒麟のまち観光局が実施する周遊バスの運行を支援する
手段	
(どうするのか)	

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

			平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
内容	年度別計画 3		①広城周遊バスの運行 支援	①広城周遊バスの運行 支援		①広城周遊パスの運行 支援	①広城周遊パスの運行 支援
Ī	年度別実績		①広坡周遊バスの運行 支援 装美コース:20便運行 、利用者219人 、利用者129人 、利用者122人 、利用者122人 、小頭若桜コース:11便 運航、利用者128人	①広域周遊バスの運行 支援 美ュース:18便運行 、利用者280人 、利用者144人 、八頭若桜コース:8便 運行、利用者69人 鳥取西コース:5便運 行、利用者63人	岩美コース:17便運行 、利用者133人	①広域周遊バスの運行 支援城周遊バスの運行 支援取四コース:9便運 行、利用者142人 国府コース:3便運行 、利用者27人	
	I	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)
		貴(A+B)	722	2,905	3,088	2,110	0
事	直接	経費 A	0	2,173	2,364	1,391	0
業	直接経	国・県	0	404	500	0	0
費	豊佞柱	地方債	0	0	0	0	0
	源内訳	その他	0	0	0	0	0
		一般財源	0	1,769	1,864	1,391	0
-	人作	牛費 B 	722	732	724	719	0
職	員数の	正規職員	0.10	0.10	0.10	0.10	0.00
	内訳	嘱託職員 臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度		
		利用者数	Į.	目標	1000	1000	1000	540	540		
	1		人	実績	469	556	283	169	0		
		(指標の説明) R1より運行便数の実績に合わせて下方修正									
活動				目標	0	0	0	0	0		
動指	2			実績	0	0	0	0	0		
標		(指標の説明)									
				目標	0	0	0	0	0		
	3			実績	0	0	0	0	0		
		(指標の説明)									

5. 令和元年度の事務事業実施概要	[DO]	※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)
	【問合せ先】観光振興係	0857-30-8292
	【10次総の施策体系】	2201
	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次:	当初予算·P128(経057)
	運行期間:令和元年6月 運行回数:12回	光局に負担金を支出し、因幡地域周遊バスの運行を支援する。 8日 ~ 令和元年11月23日 、国府エリアの2コース
	【事業の成果】 利用者数:169人 (鳥取西コース 142人	、国府コース 27人)
事務事業の実施概要		周遊観光商品として継続実施するとともに、旅行会社の要請に応 などの人気観光地を巡る商品造成を行い、誘客促進を図る。

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
指	1	利用者数	47%	56%	28%	31%	
標達成	2						
率	3						

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
年度計画の進捗度	□ 1. 計画を上回る■ 2. 計画どおり	
3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より 当該年度で予定した事業が3月末時点でどのよう な進捗状況となったか。	□ 3. 事業未完了	
事業の成果	□ 1. 目標を大幅に上回る	魅力的かつ効果的な周遊コースとなるよう内容や便数を検討する必要がある。
事業の成本	□ 2. 目標を上回る	
6. 活動指標の達成率 【CHECK】より 「150%以上: 大幅に上回る」、「101%~150%未	□ 3. 概ね目標どおり	
満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、 「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に	□ 4. 目標を下回る	
下回る」※最も達成度の低い指標で評価	■ 5. 目標を大幅に下回る	

9. T. N. 177/N. N. C. PH 017 C. T. C.	,0000				
	□ 1. 拡充	□ 1−1	意図的に拡充	□ 4-1	意図的に縮小
	■ 2. 改善継続	□ 1-2	制度的に自然増加	□ 4-2	制度的に自然減少
今後の方向性	□ 3. 現状維持	■ 2-1	手段等の改善	□ 5−1	臨年実施等、意図的に休止
	□ 4. 縮小	□ 2-2	効率化、簡素化	□ 5-2	意図的に廃止
	□ 5. 休止、廃止、終了	□ 2-3	他事業との統合	□ 5-3	制度的に終了
担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由が わかるよう、数値等を用いた具体的な 成果と、今後の改善プランを記載)	麒麟のまち観光圏城内の周遊観光帝 成を行い、誘客促進を図る。	i品として継続∮	実施するとともに、旅行会社の要	請に応じ、鳥耶	砂丘や白兎海岸などの人気観光地を巡る商品造

 事務事業コート
 019300
 重点施策
 該当なし
 令和元年度 第10次鳥取市総合計画

 事務事業名
 観光サイン設置事業
 所属名
 経済観光部
 観光・ジオパーク推進課

1. 基本情報

1. 45/7	114 195						
_位 総	体系区分	コード		名 称		事業区分名称	区分
置音	まちづくりの目標	20	新しいにぎわいのある。	まち	事業期間	令和元年度 ~ 全期	
位置づけ	政策	02	地域資源を生かしたまちづくり			扣枷头人	
''	施策	2201	滞在型観光の推進		根拠法令、 根拠計画等		
16		目標の種	別	平成28年度	令和2年度	TEMENTE 4	
	観光入込客数(年	間)		301万人	326万人	事業分類区分	建設、整備
標の	国際観光客サポートセンター案内件数(年間)			6,520人	10,000人	運営方法	直営
				0	0	会計区分	一般会計
予算	予算事業名 観	光サイン設置	置事業費	_		予算事業コード	01-06-01-03-07-14

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

	観光客
対象 (何を、誰を)	
	観光施設や観光地の情報を観光客へ的確に発信する。
意図	
(どのような状態 にするために)	
127 07205127	
	観光サイン(案内看板等)の新設、更新、修繕などを行う。
手段	
(どうするのか)	

3. 事業の年度別計画・実績 【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

~	ナネツー	一及別田日	· 夫稹【PLAN·DO】				取り組みで間系に記入
			平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
内容	年度別計画 - - - 年度別実績		①観光サイン(案内看 板等)の整備	①観光サイン(案内看 板等)の整備	①観光サイン(案内看 板等)の整備		①観光サイン(案内看 板等)の整備
1			○観光サイン(案内看 板等)の整備 新設4件、更新9件	①観光サイン(案内看 板等)の整備 新設5件、更新11件	○観光サイン(案内看 板等)の整備 新設2件、更新8件	①観光サイン(案内看板等)の整備 新設3件、更新9件	
		区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)
	事業費	貴(A+B)	3,266	3,099	3,449	3,328	0
l	直接	経費 A	1,822	1,635	2,000	1,890	0
事業		国・県	242	205	232	472	0
費	直接経 費の財	地方債	0	0	0	0	0
^	源内訳	その他	0	0	0	0	0
		一般財源	1,580	1,430	1,768	1,418	0
	人作	牛費 B	1,444	1,464	1,449	1,438	0
H	の株品	正規職員	0.20	0.20	0.20	0.20	0.00
	員数の 内訳	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	臨時職員		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度			
		鳥取砂丘・いなば温泉郷周辺観光入込客数	手人	目標	3010	3070	3130	3200	3260			
	1		一八	実績	2877	2630	2685	2949	0			
		(指標の説明)										
活動		観光看板の整備数	件	目標	17	17	17	17	17			
動指	2		17	実績	13	16	10	13	0			
標		(指標の説明)										
				目標	0	0	0	0	0			
	3			実績	0	0	0	0	0			
		(指標の説明)										

-ズな観
言語化な

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
指	1	鳥取砂丘・いなば温泉郷周辺観光入込客数	96%	86%	86%	92%	
標達成	2	観光看板の整備数	76%	94%	59%	76%	
率	3						

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
年度計画の進捗度	□ 1. 計画を上回る ■ 2. 計画どおり	
3. 事業の年度別計画・実績 【PLAN・DO】より 当該年度で予定した事業が3月末時点でどのよう な進捗状況となったか。	□ 3. 事業未完了	
事業の成果	□ 1. 目標を大幅に上回る	緊急を要する大規模な看板の整備を実施したため。
7 × 07/0×	□ 2. 目標を上回る	
6. 活動指標の達成率 【CHECK】より 「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未	□ 3. 概ね目標どおり	
満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、 「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に	■ 4. 目標を下回る	
下回る」※最も達成度の低い指標で評価	□ 5. 目標を大幅に下回る	

	□ 1. 拡充	□ 1-1 意図的に拡充	□ 4-1 意図的に縮小
	■ 2. 改善継続	□ 1-2 制度的に自然増加	□ 4-2 制度的に自然減少
今後の方向性	□ 3. 現状維持	■ 2-1 手段等の改善	□ 5-1 臨年実施等、意図的に休止
	□ 4. 縮小	□ 2-2 効率化、簡素化	□ 5-2 意図的に廃止
	□ 5. 休止、廃止、終了	□ 2-3 他事業との統合	□ 5-3 制度的に終了
担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由が わかるよう、数値等を用いた具体的な 成果と、今後の改善プランを記載)		!き適切な管理を行う。また、必要に応じ多言語	F化などインバウンドの受入に向けた整備を行う。

 事務事業コート
 019600
 重点施策
 まちづくり
 令和元年度 第10次鳥取市総合計画

 事務事業名
 広域観光開拓・推進事業
 所属名
 経済観光部
 観光・ジオパーク推進課

1. 基本情報

☆総	体系区分	コード		名 称			区分
位置づけ	まちづくりの目標	20	新しいにぎわいのある。	新しいにぎわいのあるまち			平成27年度 ~ 全期
づ画	政策	02	地域資源を生かしたまちづくり				
けの	施策	2201	滞在型観光の推進		根拠法令、 根拠計画等		
	目標の種別			平成28年度	令和2年度	IKIZII E 4	
目無策	観光入込客数(年間)			301万人	326万人	事業分類区分	ソフト(任意)
目標の	国際観光客サポートセンター案内件数(年間)		6,520人	10,000人	運営方法	直営	
			0	0	会計区分	一般会計	
予算	予算事業名 広	域観光開拓	•推進事業費	推進事業費			01-06-01-03-11-03

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

	観光客
対象 (何を、誰を)	
意図 (どのような状態 にするために)	地域連携DMO「麒麟のまち観光局」への活動支援や関係自治体との連携による広域周遊観光圏の形成を通じて、圏域の観光誘客と周遊促進を図る。
手段 (どうするのか)	麒麟のまち圏域1市6町が連携し、麒麟のまち観光局の運営・活動を支援。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

<u> </u>	TAU	F及加可图	·美稹【PLAN·DO】		六千皮 別の	取り組みを間深に記入	
			平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
内容	年度別計画		①観光グランドデザイ ンの策定 ②広域同遊ルート創出 ③観光ガイドアブリの 開発	①外国人観光客の増加 対策 ②海外プロモーション ③多言語翻訳端末の普 及促進 ④地域連携DMOの設 立	①外国人観光客の増加 対策 ②麒麟のまち観光局の 運営支援	①麒麟のまち観光局の 運営に要する経費の支 援	①麒麟のまち観光局の 運営に要する経費の支援
1	年度	別実績	①観光グランドデザインの策定 ンの策定 ②広域同遊ルート創出 ③観光ガイドアブリの 開発	①外国人観光客割引高 連バスの運行支援 ②上記を海外市場ペプ ロモーション ③多言語翻訳端末の普 及活動支援 ④地城連携DMO「麒 麟のまち観光局」の設 立支援	①外国人観光客向け着 地型商品の造成 ②麒麟のまち観光局の 運営支援	●経費負担により事業を支援。・多言語版HPの公開・マーケティング調査・海外プロモーション	
	[区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)
	事業費	費(A+B)	39,301	38,664	49,019	40,030	0
	直接	経費 A	32,082	28,417	42,500	38,592	0
事業		国∙県	15,330	5,079	21,200	19,296	0
費	直接経 費の財	地方債	0	0	0	0	0
	源内訳	その他	0	0	0	0	0
		一般財源	16,752	23,338	21,300	19,296	0
	人作	‡費 B	7,219	10,247	6,519	1,438	
融	員数の	正規職員	1.00	1.40	0.90	0.20	0.00
	貝数の 内訳	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
Ι΄		臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
		【KPI】鳥取版DMO推進組織の設置	件	目標	0	1	0	0	0
	1		111	実績	0	1	0	0	0
		(指標の説明) DMOの発足をもって実	績1とす	る。		•	•		
活動		【KPI】麒麟のまち圏域の観光入込客数	万人	目標	0	0	0	720	745
動指	2			実績	0	0	0	681	0
標									
				目標	0	0	0	0	0
	3			実績	0	0	0	0	0
I		(指標の説明)							

5. 令和元年度の事務事業実施概要		※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と運動)
	【問合せ先】観光振興係(0857-30-8292
	【10次総の施策体系】22	201
	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次:当	i 初予算・P 1 2 9 (経 0 6 0)
		1西部1市6町の広域観光周遊圏形成を目的に組織されている(一 動を支援し、広域周遊圏の形成を図る。
	マーケティング調査	の多言語版HPの製作・公開 Eの実施 ブックの製作 ・情報発信 など
事務事業の実施概要		を響により低迷する観光需要の回復に向け、国内需要の獲得を優 に源の掘り起こしや造成した観光商品の販売体制の充実・強化を

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
指	1	【KPI】鳥取版DMO推進組織の設置		100%			
標達成	2	【KPI】麒麟のまち圏域の観光入込客数				95%	
率	3						

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
年度計画の進捗度	□ 1. 計画を上回る ■ 2. 計画どおり	
3. 事業の年度別計画・実績 【PLAN・DO】より 当該年度で予定した事業が3月末時点でどのよう な進捗状況となったか。	□ 3. 事業未完了	
事業の成果		東アジア市場向け圏域プロモーション効果に伴うインバウンド需要の堅調な伸びと、10連休や鳥取西道路全線開通に伴い、観光客の入込数増加につな
6. 活動指標の達成率 【CHECK】より 「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未	■ 3. 概ね目標どおり	がった。
満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、 「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に	□ 4. 目標を下回る	
下回る」※最も達成度の低い指標で評価	□ 5. 目標を大幅に下回る	

	□ 1. 拡充	□ 1-1 意図的に拡充	□ 4-1 意図的に縮小
	■ 2. 改善継続	□ 1-2 制度的に自然増加	□ 4-2 制度的に自然減少
今後の方向性	□ 3. 現状維持	■ 2-1 手段等の改善	□ 5-1 臨年実施等、意図的に休止
	□ 4. 縮小	□ 2-2 効率化、簡素化	□ 5-2 意図的に廃止
	□ 5. 休止、廃止、終了	□ 2-3 他事業との統合	□ 5-3 制度的に終了
	新型コロナウイルスの影響により低 売体制の強化を進める。	氏迷する観光需要の回復に向け、国内需要の獲得	に向け新たな観光資源の掘り起こしや、造成した観光商品の販